

2021年度

事業報告書

2021年4月01日から

2022年3月31日まで

公益財団法人 日本水泳連盟

2021年度 事業報告

〈所信〉

2021年度は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、各事業を推進する1年となりました。このような国難ともいえる状況下、ご支援ご協力をいただいた協賛スポンサーの皆さま、加盟団体や多くの関係団体の皆さまに対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

選手派遣および選手強化事業では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京オリンピック）における大橋悠依選手の史上初となる女子選手による2冠達成や本多 灯選手の銀メダル獲得など、選手たちは素晴らしい活躍を見せてくれました。しかしながら、対世界で考えると、まだまだ課題の残る1年でもありました。戦績の評価と分析を通じて、競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング(AS)、オープンウォータースイミング(OWS)の全部門において、2022年度以降の競技力向上に生かしてまいります。

競技大会開催事業では、東京オリンピックを国際水泳連盟(FINA)および大会組織委員会との強固な連携の下、無観客開催ではありましたが成功裏に終えることができました。また国内大会においても、感染予防対策を徹底し、主要大会を大過なく開催することができました。

競技条件整備事業では、2019年度にサーバー移行した競技者登録システム「Web-SWMSYS」の安定稼働に加え、「水泳ニッポン中期計画・2017-2024」に基づき昨年度に導入した「泳力検定システム」、「記録サイト」の活用を推進しました。

普及事業では、指導者養成・生涯スポーツ・総務の横串会議体を発足し、水泳指導者数の減少対策を講じる取り組みを開始しました。「水泳の日」をはじめ、大半の普及事業が中止や規模縮小となりましたが、水泳離れに歯止めをかけ、水泳ファミリーの回復に努めてまいります。

組織運営のための共通事業では、「スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉」の適合性審査を受審するとともに、会議や研修会を通じたガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、インテグリティの向上に努めました。

財務面では、諸経費の削減努力に加えてさらなる自主財源の確立に注力し、より積極的かつ組織的なマーケティング活動、公的機関からの助成金および免税募金などにより、コロナ禍による減収を最小限に食い止め、本年度事業への充当財源を確保することができました。

結びに、新型コロナウイルスの感染拡大により、現在もなお、日本の水泳界は予断を許さない状況に置かれています。しかし、このような時だからこそ、水泳関係者の一致団結が何よりも必要なことと強く確信しています。引き続き、一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2022年 6月 26日

会長 鈴木 大地

I 競技大会開催事業

2021年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、競技会や競技関係諸事業の多くが規模縮小、無観客開催、内容変更などをせざるを得ない状況となった。しかしながら、昨年度は中止となった大半の競技会が、国民体育大会を除き、万全の感染予防策を立てた上で実施できたことは大きな成果であった。また、競泳・飛込・水球・AS・OWSの関係者が総力を挙げて、延期となった東京オリンピックを成功裏に開催できたことは、日本水泳史に刻まれる出来事となった。全ての会場で無観客とはなかったが、世界トップレベルの選手が最高のパフォーマンスを発揮して、世界中に感動を届けることができた。それぞれの競技において、FINA本部役員、組織委員会委員、FINA派遣のITO、国内選出のNTOが連携して競技運営にあたり、大会を成功に導くことができた。参加された全ての選手の健闘をたたえるとともに、関係各位のご協力で心から感謝申し上げたい。

1. 国内競技開催事業

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、ほぼ全ての競技大会を実施できた。年度初めにオリンピック代表選手選考会として実施された第97回日本選手権水泳競技大会競泳競技は、オリンピック会場である東京アクアティクスセンターにて8日間の熱戦が繰り広げられた。2020年度は中止となった日本高等学校選手権水泳競技大会(インターハイ)や全国中学校水泳競技大会(全国中学)をはじめとする全国大会も、無観客開催にするなど万全の感染予防対策を講じた上で開催した。しかしながら、第76回国民体育大会(三重大会)と日本スポーツマスターズ2021(岡山大会)は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止となった。また、世界選手権大会とアジア大会の代表選手を選考するため、3月2日から5日まで、国際大会日本代表選手選考会を東京辰巳国際水泳場で実施した。

各大会の開催にあたっては、主管・共催団体との連絡調整を緊密に行い、企画、立案、運営、予算管理を徹底し、準備から大会終了までを統括した。感染予防対策に万全を期し、「安心で安全な水泳競技会」を目指し、選手が自己の持てる力を最大限発揮できる競技会を実現することができた。

大会名	開催日程	会場	参加者数
第97回日本選手権水泳競技大会(競泳競技)	4月3日(土)～ 10日(土)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加団体 219 男子290/女子221
第97回日本選手権水泳競技大会(AS競技)	5月7日(金)～ 9日(日)	大阪府 東和薬品クラブドーム	参加団体 17 男子6/女子221
ジャパンオープン2021(50m)	6月3日(木)～ 6日(日)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 251 男子398/女子311
日本ASチャレンジカップ2021	6月17日(木)～ 20日(日)	静岡県 県立水泳場	参加団体 23 男子8/女子228
OWSオーシャンズカップ2021	6月20日(日)	千葉県 館山市北条海岸	参加団体 30 男子58/女子54

第68回全国国公立大学選手権水泳競技大会	8月8日(金)・ 9日(土)	秋田県 県立総合プール	参加団体 76 男子439/女子263
第89回日本高等学校選手権水泳競技大会 (競泳競技)	8月17日(火)～ 20日(金)	長野県 アクアウイングプール	参加団体 391 男子442/女子345
(飛込競技)	8月17日(火)～ 20日(金)	長野県 アクアウイングプール	参加団体 50 男子15/女子39
(水球競技)	8月17日(火)～ 20日(金)	長野県 県立長野東高等学校	参加団体 20 男子235
第61回全国中学校水泳競技大会 (競泳競技)	8月17日(火)～ 19日(木)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 395 男子363/女子348
(飛込競技)	8月17日(火)～ 19日(木)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 47 男子32/女子50
第44回全国JOCジュニアオリンピックカッ プ夏季水泳競技大会(競泳競技)	8月22日(日)～ 26日(木)	大阪府 東和薬品クラブドーム	参加団体 793 男子1575 女子1358
(飛込競技)	8月22日(日)～ 25日(水)	大阪府 丸善インテック	参加団体 55 男子60/女子86
(水球競技)	8月22日(日)～ 26日(木)	京都府 京都アクアリーナ	参加団体 76 男子538/女子376
(AS競技)	8月22日(日)～ 25日(水)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 29 男子10/女子354
第66回日本大学・中央大学対抗 水泳競技大会	8月27日(金)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 2 男子75/女子25
第93回早慶対抗水上競技大会	8月28日(土)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 2 男子31/女子13
日本スポーツマスターズ2021	8月28日(土)・ 29日(日)	岡山県 児島マリンプール	中 止
第76回国民体育大会水泳競技大会 (AS競技)	9月4日(土)	三重県 三重交通Gスポーツの杜	中 止
(水球競技)	9月5日(日)～ 7日(水)	三重県 三重交通Gスポーツの杜	中 止
(OWS競技)	9月9日(水)	三重県 尾鷲市三木里海水浴場	中 止
(競泳競技)	9月10日(月)～ 12日(水)	三重県 三重交通Gスポーツの杜	中 止
(飛込競技)	9月10日(金)～ 12日(日)	三重県 三重交通Gスポーツの杜	中 止
第38回日本マスターズ水泳選手権大会	9月16日(木)～ 20日(月)	石川県 金沢プール	中 止

第97回日本選手権水泳競技大会 (飛込競技)	9月17日(金)～ 19日(日)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体 50 男子39/女子51
第97回日本学生選手権水泳競技大会 (AS競技) 第10回マーメイドカップ	9月18日(土)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 16 女子40
(水球競技)	9月23日(木)～ 26日(日)	新潟県 県立柏崎アクアパーク	参加団体 22 男子206/女子82
(競泳競技)	10月8日(金)～ 10日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 62 男子454/女子333
(飛込競技)	10月9日(土)・ 10日(日)	新潟県 グリーンピアスエッグプール	参加団体 20 男子17 女子26
第63回日本選手権水泳競技大会(25m)	10月16日(土)・ 17日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 190 男子194/女子176
第97回日本選手権水泳競技大会(OWS競技)	10月16日(土)・ 17日(日)	高知県 須崎シーパーク大島	参加団体 54 男子140/女子134
第97回日本選手権水泳競技大会 (水球競技)	10月29日(金)～ 31日(日)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 16 男子115/女子118
第4回日本社会人選手権水泳競技大会	11月6日(土)・ 7日(日)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体 174 男子370/ 女子75
第14回全日本ユース(U15)水球選手権大会 (桃太郎カップ)	12月24日(金)～ 27日(月)	岡山県 倉敷市屋内水泳センター	参加団体 24 男子167/女子145
第25回13・15歳ソロ・デュエット大会	1月22日(土)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 20 男子1/女子66
ASナショナルトライアル2022	1月23日(日)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 19 男子3/女子121
2021年度翼ジャパンダイビングカップ	2月11日(金)～ 13日(日)	静岡県 浜松市総合水泳場	参加団体 32 男子32/女子22
第8全日本ジュニア(U17)水球競技選手権 大会(かしわざき潮風カップ)	3月18日(金)～ 21日(月)	新潟県 県立柏崎アクアパーク	参加団体 26 男子183/女子132
第44全国JOCジュニアオリンピックカッ プ春季水泳競技大会(飛込競技)	3月25日(金) 26日(土)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 19 男子17/女子28
(水球競技)	3月26日(土)～ 30日(水)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 64 男子567/女子215
(競泳競技)	3月27日(日)～ 30日(水)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 814 男子1542 女子1342

2. 国際競技開催事業

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により1年延期となった東京オリンピックが、7月24日から8月8日までの期間で開催された。各競技の開催日ならびに会場は下記のとおりである。

それぞれの競技では、ITO と NTO が協力して競技運営にあたり、日本の運営能力が高い評価を受けた。FINA 飛込ワールドカップ 2021 は当初の日程を変更して、5月1日から6日まで、オリンピック最終選考会を兼ねて、48か国参加の下、東京アクアティクスセンターで開催された。5月に開催予定であったASのオリンピック最終予選会、および福岡シーサイドももちで開催予定であったOWSのオリンピック最終予選会は、それぞれ国外で開催されることとなった。

FINA Diving World Cup2020	5月1日(土)～ 6日(木)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加国 48 男子101/女子221
FINA ARTISTIC SWIMMING OLYMPIC GAMES QUALIFICATION TOURNAMENT 2020	5月1日(土)～ 4日(火)	東京都 東京アクアティクスセンター	国外開催に変更
FINA Olympic Marathon Swim Qualifier 2020	5月30日(土)・ 31日(日)	福岡県 ももち浜	国外開催に変更
OLYMPIC GAMES(SW)	7月24日(土)～ 8月1日(日)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加国 182 選手数 880
OLYMPIC GAMES(DV)	7月25日(日)～ 8月7日(土)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加国 29 選手数 143
OLYMPIC GAMES(WP)	7月24日(土)～ 8月8日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加国 16 選手数 286 男子 12チーム 女子 10チーム
OLYMPIC GAMES(AS)	8月2日(月)～ 8月7日(土)	東京都 東京アクアティクスセンター	参加国 22 選手数 104
OLYMPIC GAMES(MS)	8月4日(水)・ 5日(木)	東京都 お台場海浜公園	参加国 51 男子26/女子25

3. 競技委員会事業

(1) マーケティング事業

コロナ禍の影響でマーケティング対象大会が無観客開催になるなどしたが、協賛金額の大幅な減額などは無く、継続的なご支援をいただいた。オフィシャルスポンサー、オフィシャルパートナー、オフィシャルサプライヤーをはじめ、協賛各社に心より感謝したい。

(2) 競技事業

全国大会の開催にあたっては、各大会の開催地、加盟団体、(公財)全国高等学校体育連盟、(公財)日本中学校体育連盟などと連絡調整を図りながら、徹底した感染予防策を講じた。全ての大会を無観客にした上で、全参加者に健康チェックシートの提出義務付け、マスク・フェイスシールドの着用、招集所や控え場所などでの選手間の距離確保、インタビュー方式の変更、消毒作業の実施やアルコール消毒液の設置等々を徹底して行った。その結果、感染者を出すことなく実施することができた。全国競技委員長会議は、参集型を改めてリモート会議形式にて、第97回日本選手権水泳競技大会競泳競技の大会期間中に2年ぶりに開催した。また、全国大会開催地への競技会指導も再開し、大会が開催される会場にて会場レイアウトから選手動線、競技役員の動きに至るまで実地で指導を行った。

(3) 学生競技会事業

昨年度、開催中止となった全国国公立大学選手権大会を、本年度は関係各位の協力の下、秋田で開催した。無観客、参加人数の削減、メドレーリレー種目の監督者会議日での実施など、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら無事に開催できたことは、今後の大会開催の礎となった。

第97回日本学生選手権水泳競技大会は、参加人数の削減、無観客、4日間開催、リモート監督者会議の実施などに加え、PCR検査陰性証明を義務付けなど、より一層のコロナ対策を施して開催した。しかし、2年連続となる参加人数の制限や無観客での開催は、本来の「インカレ」からはほど遠く、次年度に向けた課題としたい。

全国各支部との連携を緊密に図るため、年間14回のリモート会議を開催した。ドーピング違反の再発防止のための「学生向けアンチ・ドーピング講習会」も各支部にてリモートで実施した。

東京オリンピックに補助役員として参加した経験を生かし、再延期となった世界選手権大会(2023年福岡)の成功に向けて、学生の競技役員養成を継続する。

II 競技条件整備事業

1. 競技者登録事業

水泳競技大会への参加者および記録を管理するため、競技者（選手、団体）の登録管理の安定化を図る事業を推進した。Web-SWMSYS は、2019 年度のサーバー移行に伴い、年間を通じて安定稼働した。

2. 競技規則制定事業

2021 年度は競技規則の改定は行われなかったが、FINA の競技規則との整合性を図るとともに、最新版の全競技規則を本連盟ホームページ（HP）に掲載して情報発信を継続した。全国で統一した理解・共通認識のもとで、選手が安心して競技に取り組める環境整備を推進した。

3. 競技役員養成・登録事業

昨年度新型コロナウイルスの感染症拡大を受けて中止となっていた公認競技役員・審判員養成のためのブロック研修会ならびに加盟団体主催の講習会だが、今年度はリモート形式や会場を工夫するなどして大半が実施できた。しかしながら、本連盟の主催大会における加盟団体競技委員長の実技研修は、感染予防の観点から引き続き見送りとした。今後も、競技役員資格取得者数を維持して、本連盟の方針や競技会運営の方法を全国各地に浸透させるための取り組みを継続する。

4. 競技記録公認・管理事業

（競技結果公認報告）

競技者の競技結果を公認し、管理する事業を行った。加盟団体の協力により、3 日以内の結果報告は定着しつつある。

（超速システム）

運用実施率の向上に取り組み、半数以上の加盟団体で実施された。

（記録管理）

構築した記録報告サイトを活用し、公認大会競技結果の記録管理および記録報告システムの安定化を推進した。

5. 施設用具公認事業

（1）競技場であるプールおよび競技に係る施設用具に関して、公認規則に基づき検査を行い、公認する事業を行った。

公認プール	50m	25m	飛込	水球	標準
新規	1件	2件	1件	0件	0件
再公認	47件	58件	13件	0件	2件

（2）「水泳および水泳競技に使用される用器具類やシステム等の公認・推薦規程」に基づく推薦商品認定を行った。

新規公認企業	0 企業	0 商品
新規推薦企業	3 企業	2 商品

6. アンチ・ドーピング事業

<主催・主管大会でのドーピング検査事業>

（公財）日本アンチ・ドーピング機構（JADA）と連携し、主催大会においてドーピング検査（競技会検査）を実施し、選手の権利を守る立場である NF 代表役員をドーピング検査会場に派遣した。

競技会名（検査日）	NF 代表役員	スポーツ ファーマシスト
競 泳 日本選手権（4/3～10）	奥田、坂口、上原、篠木、半谷、福田、岡井、黒木	派遣無し
FINA 飛込ワールドカップ（5/1,2,4～6）	半谷、内田、清水、大谷、塚越	-
FINA AS 五輪予選（5/10～13）	<small>延期・変更</small> -	-
A S 日本選手権（5/9）	福田、大谷	派遣無し
FINA マラソンスイム五輪予選（5/29,30）	<small>延期・変更</small> -	-
三重国体 競泳（9/10～12）	中止	-
飛 込 日本選手権（9/18）	上原、坂口	派遣無し
競 泳 インカレ（10/8～10）	元島、上原、塚越、宇内、内田、関澤	派遣無し
OWS 日本選手権（10/16）	奥田、宇内	派遣無し
競 泳 日本選手権(25m)（10/16,17）	塚越、杉山、浅井	派遣無し
水 球 日本選手権（10/31）	上原、内田	派遣無し

対象者：ドーピング検査は上記競技会（多くは日本選手権レベル）にて、JADA の指示による指定や抽選で対象選手を決定し検査が行われた。（通常、ワールドカップ、ワールドシリーズなどの国際競技会については、FINA の指示により対象選手を決定している。）

<その他の事業>

（1）HP 掲載資料作成、薬の治療目的使用に係る除外措置（TUE）書類審査

- ・本連盟 HP および競技会掲載用のアンチ・ドーピング資料の作成をした。全国大会出場レベル選手から国際大会出場レベル選手向けの内容とした。
- ・JADA から通達があった連絡事項を本連盟 HP にも掲載し、注意喚起を行った。
- ・選手より届いた TUE 申請の書類チェック、および FINA、JADA への提出・確認を行った。

（2）強化合宿・研修会などへの講師派遣

- ・本連盟強化合宿やコーチ研修会にて、オンラインでのアンチ・ドーピング講習会を行った。

日程	催事名称	場所	担当者	担当者所属
10/24	インター研修会（競泳）	オンライン	村田 大樹	新潟県立中央病院
11/1～12/31	公認水泳コーチ3・コーチ4研修会	オンライン (E-learning)	大友 謙太郎	医療法人鉄蕉会 亀田クリニック薬剤室
12/4	公認水泳コーチ4養成講習会	オンライン	塚越 祐太	筑波大学医学医療系
12/5	日本代表オンライン研修会（AS）	オンライン	村田 大樹	新潟県立中央病院
12/7	アンチ・ドーピング講習会（OWS）	オンライン	村田 大樹	新潟県立中央病院
1/7	アンチ・ドーピング講習会（飛込・水球）	オンライン	村田 大樹	新潟県立中央病院

- ・水泳競技に限らずサプリメントによる違反事例が続いたことを受け、サプリメントに依存する傾向の強い学連競技者（大学生）を対象に、学生委員会主導の下、JADAの教材（オンライン講習）を用いてアンチ・ドーピング講習会を開催した。

(3) 競技会相談担当スポーツファーマシスト派遣

- ・例年、出場選手・コーチ向けに薬の使用についての相談ブースの設置、スポーツファーマシスト派遣をドーピング検査実施競技会において実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、本年度は設置、派遣は行わなかった。

(4) JADA 会議への国内競技団体（NF）代表役員としての参加

- ・年数回開催される JADA の連絡会議およびシンポジウム（オンライン開催）などに参加し、最新情報を収集した。

(5) 競技会におけるアンチ・ドーピング啓発活動（アウトリーチプログラムの実施）

- ・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会が開催されたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、本連盟主体のアウトリーチプログラムは中止となった。

(6) 学術活動

- ・第23回水と医学研究会にて「2020-2022コロナ禍から世界選手権大会に向けたアンチ・ドーピング」の演題発表をし、ドクター、トレーナーなどに対する啓発活動を行った。

(7) (公財) 日本スポーツ協会（JSPO）公認水泳コーチ研修会にて

- ・アンチ・ドーピング活動に関する講義を行い、コーチに対する啓発活動を行った。

(8) スポーツファーマシストによる医薬品相談・ホットライン体制

- ・本連盟独自に、HP 上で医薬品使用可否に関する相談対応を実施した。

(9) 学連競技者対象のアンチ・ドーピング講習会の開催

Ⅲ 選手派遣事業

本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くの派遣事業が中止となった。東京オリンピック（2021年）の戦績評価・分析を行い、パリオリンピック（2024年）に向けた強化戦略プランを作成し、各派遣の目標・目的を明確化しつつ、コロナ禍を踏まえた「バックアッププラン」の作成も行った。

1. JOC 事業

(1) 第32回オリンピック競技大会

- ① 期間・場所 2021年7月23日～8月8日 日本・東京
- ② 競技種目・日程
 - (ア) 競泳 7月24日～8月1日
 - (イ) 飛込 7月25日～8月7日
 - (ウ) 水球 7月24日～8月8日
 - (エ) AS 8月2日～8月7日
 - (オ) OWS 8月4日・5日
- ③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本部	4	-	-	-	4
競泳	19	17	16	33	52
飛込	6	6	5	11	17
水球	11	13	13	26	37
AS	6	-	9	9	15
OWS	5	1	1	2	7
合計	51	37	44	81	132

【競泳】

役員 団長 坂元 要
 ドクター 元島 清香 坂口 健史
 総務 村松 さやか

【競泳】

役員 監督 平井 伯昌
 コーチ 鈴木 陽二 西条 健二 下山 好充 塚田 陽一
 梅原 孝之 茅原 直人 佐々木 祐一 倉澤 利彰
 トレーナー 小泉 圭介 藤田 敬 鱈淵 和也 小川 円香
 分析 林 勇樹 マグナス・シエルベルグ
 総務 山本 あゆ美
 広報 田中 由起
 支援コーチ 西崎 勇 石松 正考
 選手 男子 中村 克 松元 克央 入江 陵介 砂間 敬太
 佐藤 翔馬 武良 竜也 水沼 尚輝 川本 武史

本多 灯 瀬戸 大也 萩野 公介 井狩 裕貴
 関 海哉 難波 暉 塩浦 慎理 柳本 幸之介
 高橋 航太郎
 女子 小堀 倭加 難波 実夢 渡部 香生子 青木 玲緒樹
 長谷川 涼香 寺村 美穂 大橋 悠依 谷川 亜華葉
 池江 璃花子 酒井 夏海 五十嵐 千尋 大本 里佳
 白井 璃緒 増田 葵 池本 風沙 小西 杏奈

【飛込】

役員 ヘッドコーチ 安田 千万樹
 コーチ 馬淵 崇英 松本 行夫 大塚 奈保美
 総務・広報 野村 孝路
 トレーナー 成田 崇矢
 選手 男子 寺内 健 坂井 丞 玉井 陸斗 村上 和基
 伊藤 洗輝 西田 玲雄
 女子 荒井 祭里 三上 紗也可 榎本 遼香 宮本 葉月
 板橋 美波

【水球】

役員 ヘッドコーチ 大本 洋嗣 (男子) 本宮 万記弘 (女子)
 コーチ 中嶋 崇光 塩田 義法 菅井 翔太 大井 恵滋
 総務・広報 南 隆尚 川崎 奈美枝
 トレーナー 濱中 康治 瀬川 栄一 岩田 泰典
 選手 男子 棚村 克行 足立 聖弥 コップ 晴紀(引) 志賀 光明
 吉田 拓馬 鈴木 透生 志水 祐介 高田 充
 荒井 陸 稲場 悠介 大川 慶悟 荒木 健太
 福島 丈貴 (Ap)
 女子 三浦 里佳子 小出 未来 新澤 由貴 稲場 朱里
 有馬 優美 山本 実乃里 橋田 舞子 河口 華子
 岩野 夏帆 浦 映月 工藤 恭子 徳用 万里奈
 塩谷 南美 (Ap)

【AS】

役員 ヘッドコーチ 井村 雅代
 コーチ 滝田 理砂子 宮川 美哉
 広報 柴徳 篤志
 トレーナー 井上 達矢
 総務 藤島 遥香
 選手 女子 乾 友紀子 吉田 萌 福村 寿華 京極 おきな
 塚本 真由 木島 萌香 柳澤 明希 安永 真白
 佐藤 友花 (Ap)

【OWS】

役員 監督 杉山 康
 コーチ 青木 和子 藤森 善弘
 トレーナー 桑井 太陽
 総務 原 怜来
 選手 男子 南出 大伸
 女子 貴田 裕美

- ④ 成績 (ア) 競泳 7月24日～8月1日

氏名	種目	予選			準決勝			決勝		
		タイム	順位	備考	タイム	順位	備考	タイム	順位	備考
中村克	男子100m自由形	0:48.48	17	IN-C						
松元克央	男子200m自由形	1:46.69	17	IN-C	1:46.06	スィムオフ	IN-C			
入江陵介	男子100m背泳ぎ	0:52.99	5	II	0:53.21	9	II			
	男子200m背泳ぎ	1:56.97	8	II	1:56.69	8	II	1:57.32	7	
砂間敬太	男子200m背泳ぎ	1:57.07	9	II	1:57.16	14	II			
佐藤翔馬	男子100m平泳ぎ	1:00.04	23							
	男子200m平泳ぎ	2:09.43	11	IN-C	2:09.04	10	IN-C			
武良竜也	男子100m平泳ぎ	0:59.40	11	BEST/IN-C	0:59.82	13				
	男子200m平泳ぎ	2:09.00	8	IN-C	2:08.27	6	II	2:08.42	7	IN-C
水沼尚輝	男子100mバタフライ	0:51.67	12	II	0:51.46	10	II			
川本武史	男子100mバタフライ	0:51.93	20	IN-C						
本多灯	男子200mバタフライ	1:55.10	6	II	1:55.31	8	II	1:53.73	2	BEST/II
	男子200mバタフライ	1:55.26	9	II	1:55.50	11	II			
瀬戸大也	男子200m個人メドレー	1:58.15	16	IN-C	1:56.86	3	II	1:56.22	4	I
	男子400m個人メドレー	4:10.62	9	I						
荻野公介	男子200m個人メドレー	1:57.39	5	II	1:57.47	6	II	1:57.49	6	II
井狩裕貴	男子400m個人メドレー	4:12.08	11	II						
小堀俊加	女子400m自由形	4:05.67	11	BEST/II						
	女子800m自由形	8:28.90	16	II						
巖波実夢	女子400m自由形	4:13.49	20							
	女子800m自由形	8:32.04	17							
渡部香生子	女子100m平泳ぎ	1:07.01	17	IN-C						
	女子200m平泳ぎ	2:24.73	18	IN-C						
青木玲緒樹	女子100m平泳ぎ	1:07.29	19	IN-C						
長谷川涼香	女子200mバタフライ	2:10.43	13		2:09.42	9				
寺村美穂	女子200m個人メドレー	2:11.22	12	IN-C	2:12.14	15				
大橋悠依	女子200m個人メドレー	2:10.77	10	IN-C	2:09.79	5	II	2:08.52	1	I
	女子400m個人メドレー	4:35.71	3	II				4:32.08	1	I
谷川亜華葉	女子400m個人メドレー	4:41.76	12	N						
小西杏奈	女子100m背泳ぎ	1:00.04	16	IN-C	1:00.07	13	IN-C			

氏名	種目	予選			決勝		
		タイム	順位	備考	タイム	順位	備考
JAPAN	男子4×100mフリーリレー	3:14.44	13				
	中村・塩浦・難波・間	中村克	0:48.66	IN-C			
JAPAN	男子4×200mフリーリレー	7:09.53	12				
	柳本・松元・萩野・高橋	柳本幸之介	1:48.50	N			
JAPAN	男子4×100mメドレーリレー	3:32.02	5		3:29.91	6	日本記録
	入江・武良・水沼・中村	入江陵介	0:53.20	IN-C	入江陵介	0:53.05	II
JAPAN	女子4×100mフリーリレー	3:36.20	9				
	五十嵐・池江・酒井・大本	五十嵐千尋	0:54.10	BEST/IN-C			
JAPAN	女子4×200mフリーリレー	7:58.39	9				
	五十嵐・白井・池本・増田	五十嵐千尋	1:57.87				
JAPAN	女子4×100mメドレーリレー	3:57.17	6		3:58.12	8	
	小西・渡部・池江・五十嵐	小西杏奈	0:59.75	IN-C	小西杏奈	0:59.92	IN-C
JAPAN	混合4×100mメドレーリレー	3:44.15	9				
	小西・佐藤・松元・池江	小西杏奈	0:59.58				

優勝	2
2位	1
3位	0
4位	1
5位	0
6位	2
7位	2
8位	2
9位	2
10位	4

(イ) 飛込 7月 25日 ~ 8月 7日

期日	種目名	出場者名	参加チーム	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
7月25日	女子3mシンクロFinal	榎本 遼香 宮本 葉月	8チーム					5	264.90
7月26日	男子高飛込シンクロFinal	村上 和基 伊藤 流輝	8チーム					8	377.10
7月27日	女子高飛込シンクロFinal	板橋 美波 荒井 祭里	8チーム					6	291.42
7月28日	男子3mシンクロFinal	寺内 健 坂井 丞	8チーム					5	393.93

期日	種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
7月31日	女子3m飛板飛込準決勝	三上紗也香	27	5	317.10	16	273.95		
		榎本 遼香		17	277.85	17	255.40		
8月3日	男子3m飛板飛込準決勝・決勝	寺内 健	29	10	430.20	7	424.50	12	359.70
8月4日	女子高飛込予選	荒井 祭里	30	22	268.80				
8月7日	男子高飛込準決勝・決勝	西田 玲雄	29	25	314.30				
		玉井 陸斗		16	374.25	8	413.65	7	431.95

(ウ) 水球 7月 24日 ~ 8月 8日

○順位男子オリンピック 10位

1位SRB, 2位GRE, 3位HUN, 4位ESP, 5位CRO, 6位USA, 7位ITA, 8位MNE, 9位AUS, 10位JPN, 11位KAZ, 12位RSA

○男子試合結果

予選リーグ 第1戦 日本 (3,5,2,3) 13-15 (3,4,4,4) アメリカ
予選リーグ 第2戦 日本 (3,5,2,1) 11-16 (4,4,5,3) ハンガリー
予選リーグ 第3戦 日本 (1,4,1,3) 9-10 (1,4,2,3) ギリシャ
予選リーグ 第4戦 日本 (0,3,1,4) 8-16 (5,3,3,5) イタリア
予選リーグ 第5戦 日本 (5,7,6,6) 24-9 (4,4,1,0) 南アフリカ

○順位女子オリンピック 9位

1位USA, 2位ESP, 3位HUN, 4位ROC, 5位AUS, 6位NED, 7位CAN, 8位CHN, 9位JPN, 10位RSA

○女子試合結果

予選リーグ 第1戦 日本 (3,0,1,0) 4-25 (8,6,7,4) アメリカ
予選リーグ 第2戦 日本 (2,3,3,3) 11-16 (5,4,4,3) 中国
予選リーグ 第3戦 日本 (4,3,3,3) 13-17 (3,4,5,5) ハンガリー
予選リーグ 第4戦 日本 (5,3,4,4) 16-20 (5,7,6,2) ロシア

(エ) AS 8月 2日 ~ 8月 7日

デュエット (22カ国エントリー、1カ国(ギリシャ)途中棄権)

順位	NOC	Name	テクニカル	フリー決勝	合計得点
1	ROC	KOLESNICHENKO Svetlana	97.1079	98.8000	195.9079
		ROMASHINA Svetlana			
2	中国	HUANG Xuechen	95.5499	96.9000	192.4499
		SUN Wenyan			
3	ウクライナ	FIEDINA Marta SAVCHUK Anastasiya	93.8620	95.6000	189.4620
4	日本	乾 友紀子 吉田 萌	93.3499	94.4667	187.8166
5	カナダ	SIMONEAU Jacqueline HOLZNER Claudia	91.4798	93.0000	184.4798
6	イタリア	CERRUTI Linda FERRO Costanza	91.1035	92.4667	183.5702
7	オーストリア	ALEXANDRI Anna-Maria ALEXANDRI Eirini	90.3773	91.8000	182.1773
8	フランス	TREMBLE Charlotte	87.3474	89.6333	176.9807
		TREMBLE Laura			

チーム (10カ国エントリー, 1カ国(ギリシャ)棄権)

順位	NOC	Name	テクニカル	フリー	合計得点
1	ROC		97.2979	98.8000	196.0979
2	中国		96.2310	97.3000	193.5310
3	ウクライナ		94.2685	96.0333	190.3018
4	日本	乾友紀子, 吉田萌, 福村寿華, 京極おきな, 塚本真由, 木島萌 香, 柳澤明希, 安永真白	93.3773	94.9333	188.3106
5	イタリア		91.3372	92.8000	184.1372
6	カナダ		91.4992	92.5333	184.0325
7	スペイン		90.3780	91.5333	181.9113
8	エジプト		77.9147	80.0000	157.9147

(オ) OWS 8月 4日 ・ 5日

【男子 10Km】出場者 26名

順位	氏名	タイム	1位とのタイム差
13位	南出 大伸	1時間 53分 07秒 5	4分 33秒 8

【女子 10Km】出場者 25名

順位	氏名	タイム	1位とのタイム差
13位	貴田 裕美	2時間 01分 40秒 9	2分 10秒 1

2. 特別事業

(1) 飛込 FINA ワールドカップ

① 期間・場所 2021年5月1日～6日 日本・東京

② 競技種目・日程

(ア) 飛込 5月 1日～6日

③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
飛込	13	7	6	13	26

【飛込】

役員	監督	野村 孝路					
	ヘッドコーチ	増岡 啓彰					
	コーチ	馬淵 崇英	兪 金魁	坂井 弘靖	毒島 泰士		
		瓶子 勇治郎	松本 行夫	安田 千万樹	大塚 奈保美		
	トレーナー	成田 崇矢	内原 大輔				
	審判	浅田 雅子					
選手	男子	坂井 丞	寺内 健	玉井 陸斗	西田 玲雄		
		村上 和基	須山 晴貴	伊藤 洗輝			
	女子	榎本 遼香	三上 紗也可	板橋 美波	宮本 葉月		
		荒井 祭里	安田 舞				

④ 成績

期日	種目名	出場者名	参加数	予選得点	順位	準決勝得点	順位	決勝得点	順位
5/1	女子3mシンクロ飛板飛込	榎本 遼香	16	267.90	7位	—	—	270.00	8位
		宮本 葉月							
5/1	男子シンクロ高飛込	村上 和基	17	339.00	11位	—	—	344.37	12位
		伊藤 洗輝							
5/2	女子シンクロ高飛込	板橋 美波	11	280.38	7位	—	—	281.58	7位
		荒井 祭里							
5/2	男子3mシンクロ飛板飛込	寺内 健	19	—	棄権	—	—	—	—
		坂井 丞							
5/4	女子3m飛板飛込	三上 紗也香	50	298.75	7位	294.60	5位	307.20	6位
		榎本 遼香		294.45	9位	291.60	6位	299.10	8位
5/4	男子高飛込	玉井 陸斗	50	405.20	15位	421.30	9位	424.00	8位
		西田 玲雄		392.00	18位	328.80	17位	—	—
5/5	女子高飛込	荒井 祭里	37	319.80	5位	319.20	5位	342.00	2位
		安田 舞		239.60	24位	—	—	—	—
5/5	男子3m飛板飛込	伊藤 洗輝	54	297.30	47位	—	—	—	—
		須山 晴貴		385.15	19位	—	—	—	—

IV 選手強化事業

自国開催となった東京オリンピックまでは同大会に向けた選手強化に注力し、大会後はパリオリンピック（2024年）に向けて、スムーズな世代交代を図りつつ選手強化に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響や不安定な国際情勢を背景に国際大会の中止や延期が相次いだ。最大目標である3年後のパリオリンピックを見据え、月1回の特別強化委員会を通じて強化5部門で情報共有・連携を図り、それぞれの強化計画に基づき、シニア・ジュニアの強化事業を推進した。パリオリンピックに向け指導体制も一新されたため、下期の選手強化事業は新体制の土台作りとなった。

1. 競泳強化事業

2021年度の国際競技会派遣については、2020年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ヨーロッパグランプリ・世界選手権大会(25m)・ジュニア選抜遠征・ジュニアブロック選抜遠征が中止、アジア選手権大会・ワールドユニバーシティゲームズ・世界ジュニア選手権大会が延期となった。その中において、最重要大会と位置付けた東京オリンピックが開催されたことは幸いであった。

東京オリンピックに向けては、まず4月3日から10日に東京オリンピック代表選考会を兼ねた第97回日本選手権水泳競技大会競泳競技が東京アクアティックセンターで行われ、計33名（男子17名・女子16名）の選手が選考された。翌11日から4泊5日で第1次合宿を行い、例年どおり、練習に加えて、派遣手続き、取材対応、身体測定、各種講話を行った。メディア向け公開練習は、コロナ禍のため実施しなかった。5月31日から6月6日まではジャパンオープン2021（50m）に出場し、代表選手各人のコンディションを確認した。その後、7月19日から順次選手村に入村し、大会に臨んだ。

自国開催ということで個人強化を中心に東京オリンピックに臨み、金メダル2個・銀メダル1個を獲得できたことは成果であったが、入賞数9種目は満足のいく結果ではなかった。

この結果を踏まえ、パリオリンピックに向けてはチーム強化を柱に活動していくこととした。まず、8月に次世代ターゲットである大学生に向けワールドユニバーシティゲームズ・オンライン研修会を実施し、10月に国際ショナル突破選手を対象に「日本代表選手としての義務と権利」をメインテーマとしたオンライン研修会を、11月に世界選手権大会(25m)の代表メンバーによる合宿をそれぞれ行い、12月には高校生以下によるジュニアナショナルチーム合宿を初めて開催した。

(1) 国際競技会

① ヨーロッパグランプリ	6月	ヨーロッパ	中止
② アジア選手権大会	未定	未定	延期
③ 世界選手権大会（25m）	12月	UAE・アブダビ	中止
④ ワールドユニバーシティゲームズ	8月	中国・成都	延期
⑤ 世界ジュニア選手権大会	未定	未定	延期
⑥ ジュニア選抜遠征	1月	オーストラリア	中止
⑦ ジュニアブロック選抜遠征	3月	シンガポール	中止

2. 飛込強化事業

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主要大会の開催が確定せずに苦慮したシーズンであった。急遽5月に開催が決定したFINA飛込ワールドカップ2021兼東京オリンピック最終予選では、コンディショニングとモチベーションの維持に注力した結果、全8種目11名の選手が東京オリンピックの出場権を獲得し、日本飛込史上最多の選手団を編成することができた。東京オリンピックには、「シンクロ4種目で8位入賞以上」を目標に掲げ大会に臨んだ。結果、男子シンクロ飛板飛込5位、女子シンクロ飛板飛込5位、男子シンクロ高飛込8位、女子シンクロ高飛込6位となり、4種目とも入賞を果たし目標を達成することができた。時間をかけてシンクロ強化に特化した成果であった。一方、個人種目においては、メダルが期待された女子飛板および女子高飛込では結果が伴わず、入賞も男子高飛込の玉井陸斗選手の7位入賞のみにとどまった。

今回の結果を踏まえ、パリオリンピックを見据え、タレント性豊かな若手選手に特化した強化プランを策定した。玉井選手に加え、女子飛板飛込の三上紗也可選手をメダルポテンシャルアスリートとして位置付け、メダル獲得に向けて早速強化を始動した。現在、世界トップクラスの演技構成を持つ強みを生かしつつ、安定性にさらに磨きをかける努力を重ねているところである。

ジュニア強化では、12月の世界ジュニア選手権大会を主要大会と位置付け派遣準備に努めたが、コロナ禍を鑑み派遣を中止した。代替措置として国内強化合宿を実施し、石川県中田周三杯および2021年度翼ジャパンダイビングカップの2大会に出場させ、合宿の成果を検証した。他のジュニア強化選手はオンライン研修に参加し、世界情勢や現状分析に努め自己研鑽に励んだ。3月には感染対策を十分に施し、全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会飛込競技を開催し、ジュニア層の競技会強化を図った。

(1) 国際競技会

① FINA-GP（シンガポール）	5月29日～31日	シンガポール・シンガポール	開催中止
② FINA-GP（マレーシア）	6月5日～7日	マレーシア・クアラルンプール	開催中止
③ Diving World Series	2大会出場予定	中国・珠海 西安	開催中止
④ アジア選手権大会	11月7日～17日	フィリピン・クラーク	開催中止
⑤ 世界ジュニア選手権大会	11月29日～12月6日	ウクライナ・キエフ	派遣中止

3. 水球強化事業

2021年度、東京オリンピックは無観客で開催できたものの、男女水球日本代表の強化事業計画は、海外チームとの練習試合・国際競技大会を経験できず国内の合宿強化のみとなった。男子については、2018年に水球ワールドリーグ・スーパーファイナル（WLSF）で4位となり、その後2020年2月までは、1ヵ月程度の海外遠征を数度繰り返し、欧州クラブ強豪チームとの対戦で戦術構築を深めてきていただけに、このような状況変化による影響は少なくなかった。こうした中、2021年6月、男女ともにWLSFへ参戦した（男子ジョージア、女子ギリシャ）。オリンピック前に1度でも国際試合に参戦し、選手が対戦感覚や試合勘を体感できたことは貴重であった。帰国後、男女それぞれアスリートトラックにより隔離措置を施し、国内調整合宿（女子はスペイン代表と合同）を実施して東京オリンピックへ臨んだ。結果は、残念ながら男女ともに目標である決勝リーグ進出を果たせなかった（男子10位、女子9位）。男子は、1984年以降の勝利を収めたものの、初戦のアメリカ戦で逆転負けを喫したことが大きかった。女子は、国際試合における得点力向上の面で成果があった。オリンピック終了後は、ロサンゼルスオリンピックをターゲットとする長期視点での強化を志向し、体制を一新しての

再スタートを切った。また、ジュニア世代からの一貫強化の必要性から、U16は12月に倉敷にて、U18は3月に柏崎にて、それぞれ全国大会開催後研修合宿を実施した。今後は各年代で国際大会に派遣していく予定である。大会へ選抜されることが各年代の選手の目標につながるように、国内での環境整備と理解浸透に力を入れたい。下期は再び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国際試合および海外遠征などの計画が実施できなかった。

(1) 国際競技会

①男子 FINAワールドリーグスーパーファイナル 2021年6月26日～7月1日 ジョージア・トビリシ

選手団編成

ヘッドコーチ 大本 洋嗣
 コーチ 塩田 義法 南 隆尚
 トレーナー 濱中 康治
 男子 棚村 克行 足立 聖弥 コップ晴紀イラリオ 志賀 光明
 吉田 拓馬 鈴木 透生 志水 祐介 高田 充
 荒井 陸 稲場 悠介 大川 慶悟 荒木 健太
 福島 丈貴 伊達 清武 渡邊 太陽

成績

予選 R:JPN12-13GEO,JPN7-15USA,JPN8-16MNE リーグ 4位
 順位決定 T:JPN12-16ITA,JPN16-10FRA,JPN17-10KAZ 5位

②女子 FINAワールドリーグスーパーファイナル 2021年6月14日～19日 ギリシャ・アテネ

選手団編成

ヘッドコーチ 本宮 万記弘
 コーチ 大井 恵滋 川崎 奈美枝
 トレーナー 岩田 泰典
 女子 三浦 里佳子 塩谷 南美 小出 未来 徳用 万里奈
 新澤 由貴 稲場 朱里 有馬 優美 山本 実乃里
 橋田 舞子 河口 華子 岩野 夏帆 浦 映月
 工藤 恭子 西山 風花 設楽 ひかる
 審判 津崎 明日美

成績

予選 R:JPN10-26HUN,JPN10-16CAN,JPN13-21RUS リーグ 4位
 順位決定 T:JPN6-20USA,JPN5-17GRE,JPN18-10KAZ 7位

- ③ 男子ワールドリーグインターコンチネンタルカップ 4月24日～4月30日 アメリカ・インディアナポリス 延期
- ④ 女子ワールドリーグインターコンチネンタルカップ 4月24日～4月30日 アメリカ・インディアナポリス 延期
- ⑤ FINA U16 世界選手権大会 (男女) 7月5日～12日 ギリシャ・ 延期
- ⑥ 男子世界ジュニア選手権大会 8月28日～9月5日 チェコ・プラハ 派遣
中止
- ⑦ 女子世界ジュニア選手権大会 10月10日～10月16日 イスラエル・ネタニア 派遣
中止
- ⑧ アジア選手権大会 (男女) 11月7日～17日 フィリピン・クラーク 延期
- ⑨ 男女アジアジュニア選手権大会 未定のまま延期 未定のまま延期 延期

4. AS強化事業

2021年度は東京オリンピックでのチーム、デュエット両種目におけるメダル獲得を最大目標とした。延期決定後の2020年7月にオリンピック代表選手選考方法を見直し、Apアルタネイトアスリートを含む9名の候補選手を対象に強化を進めた。国内強化合宿では、体づくり、個々の課題強化、チームスキルなどを徹底強化し、個人とチームの総合力アップを図った。実践強化としてはFINAワールドシリーズ2021カザン大会(2021年4月、ロシア)に出場、日本選手権(2021年5月、大阪)にオープン出場し、実戦経験を積んでオリンピックに挑んだが、ウクライナに僅差で及ばず4位に屈する結果となった。

下期は、東京オリンピックまでの選手選考方法を大幅に変更し、2022世界選手権大会およびアジア大会を見据えて2段階による選考会を実施、指導陣の一新とともに新生代表チームを編成した。

また、2024・2028年次世代強化として、種々国際大会派遣を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となり、ジュニア年代以下の海外遠征はかなわなかった。ジュニア代表は世界ジュニア選手権大会(8月、カナダ)派遣に向けて国内強化合宿を積んだが、直前に大会が延期となり、代替として国内のチャレンジカップ大会にオープン出場し、合宿の成果を披露した。一方、FINAはバーチャル大会を公認大会としてスタートし、その大会にB代表個人種目を派遣、上位成績を取めた。

ジャンパー育成プロジェクトによるリフト強化は、レンタルスペースを活用し、できる範囲での強化を継続した。ユース強化については、秋に有望選手合宿、ユースエリート強化合宿を2回実施、そのほかオンラインを活用して種々の研修会を行い、強化育成が滞ることのないよう努めた。

2020年度に引き続き、コーチキャンプや審判研修会などのコーチ・審判強化研修はリモートで実施し、コーチと審判のためのeラーニング研修サイトを活用した。本年度も強化計画の変更に次ぐ変更に追われた1年間であったが、選手・コーチらの前向きな姿勢と関係者の力強い支援により、形を変えつつもできることを模索し、強化育成をつなぐことができた。

(1) 国際競技会

①FINA WS ロシア 2021年4月16日～18日 ロシア・カザン

選手団編成

ヘッドコーチ 井村 雅代
 コーチ 滝田 理砂子 宮川 美哉 栄徳 篤志 (フィジカルコーチ)
 トレーナー 井上 浩 井上 達矢
 総務 藤島 遥香
 女子 乾 友紀子 吉田 萌 福村 寿華 安永 真白
 塚本 真由 京極 おきな 木島 萌香 柳澤 明希
 佐藤 友花

成績

デュエット テクニカル (4組出場)	1	ロシア	ROMASHINA Svetlana 1989 KOLESNICHENKO Svetlana 1993	69.1017
	2	日本	乾 友紀子 1990 吉田 萌 1995	91.6111
	3	セルビア	DIMITRIJEVIC Nevena 1997 KONTIC Jelena 2001	77.7153

チーム テクニカル (2組出場)	1	ロシア	GOLIADKINA Maryna 1997, SHUROCHKINA Maria 1995, PATSKEVICH Alexandra 1988, CHIGIREVA Vlada 1994, ROMASHINA Svetlana 1989, KOLESNICHENKO Svetlana 1993, KOMAR Polina 1999, SHISHKINA Alla 1989	96.7548
	2	日本	乾 友紀子 1990, 吉田 萌 1995, 福村 寿華 1996, 安永 真白 1999, 塚本 真由 1997, 京極 おきな 2001, 木島 萌香 1999, 柳澤 明希 1998, 佐藤 友花 (R)2001	91.4460
デュエット フリー (4組出場)	1	日本	乾 友紀子 1990 吉田 萌 1995	93.0000
	2	ロシア ジュニア	EVENKO Violetta 2005, MINAEVA Elizaveta 2002, RODIONICHEVA Viktoriia(R) 2004	92.6000
	3	セルビア	DIMITRIJEVIC Nevena 1997 KONTIC Jelena 2001	78.9667
チーム フリー (3組出場)	1	ロシア ジュニア	DZIDZIGURI Daria 2003, KOSSOVA Ekaterina 2004, SOKOLOVA Anna 2004, BAKAI Alena 2005, EVENKO Violetta 2005, MINAEVA Elizaveta 2002, BAKHTUREVA Anastasiia 2003, MIRGAZIZOVA Diana 2004, DEMIDOVA Nadezhda (R) 2003, OGORODNIKOVA Daria (R) 2004	93.4667
	2	日本	乾 友紀子 1990, 吉田 萌 1995, 福村 寿華 1996, 安永 真白 1999, 塚本 真由 1997, 京極 おきな 2001, 木島 萌香 1999, 柳澤 明希 1998, 佐藤 友花 (R)2001	93.1667
	3	カザフスタン	BOLATOVA Nargiza 2003, MYASNIKOVA Arina 2004, SIMONOVA Yekaterina 2000, PAVLETSOVA Anna 2004, KURMANGALIYEVA Aigerim 2003, MAKAROVA Xeniya 2003, ZHIYENGAZY Zhaniya 2003, KAKUTIA Eteri 2003, KRYLOVA Yelena (R) 1999, ABDULINA Karina (R) 2001	81.9000 (PEN 1.0)

②FINA WS カナダ 2021年4月20日～28日 オンライン開催
選手団編成
女子 細川 朝香 廣田 樹 青山 優菜 吉田 理恵
渡邊 夢乃 小林 唄 和田 彩未 三橋 由利子
熊谷 日奈多 岡野 日和
男子 岩崎 尽真 佐藤 陽太郎
審判 鷺見 朗子 齋藤 由紀

成績							
ソロ テクニカル (エントリー: 10)							
表彰	順位		EX	IM	EL	得点	
1	1	日本	細川朝香	25.7000	25.0000	31.5329	82.2329
2	3	アメリカ	Ruby Remati	25.0000	25.3000	31.7855	82.0855
3	4	リヒテンシュタイン	Lara Mechnig	24.2000	24.8000	31.8713	80.8713
	2	日本	青山優奈	25.5000	24.8000	31.9310	82.2310
	5	日本	廣田樹	24.9000	24.5000	31.3706	80.7706
	8	日本	吉田理恵	24.3000	24.8000	30.4755	79.5755

ソロ フリー (エントリー: 12)							
表彰	順位		EX	AI	DIF	得点	
1	1	カナダ	Jacqueline Simoneau	27.3000	36.4000	27.0000	90.7000
2	2	アメリカ	Anita Alvarez	26.0000	35.0667	26.0000	87.0667
3	3	日本	細川朝香	25.7000	33.7333	25.3000	84.7333
	4	日本	吉田理恵	24.6000	34.1333	25.1000	83.8333
	5	日本	廣田樹	25.0000	33.2000	24.4000	82.6000
	7	日本	渡邊夢乃	24.2000	32.8000	24.0000	81.0000

デュエット テクニカル (エントリー: 14)							
表彰	順位		EX	IM	EL	得点	
1	1	アメリカ	Anita Alvarez Lindi Schroeder	25.3000	25.6000	33.7649	84.6649
2	2	日本	小林唄 和田彩未	24.9000	24.8000	33.8193	83.5193
3	4	ドイツ	Marlene Bojer Michelle Zimmer	24.2000	24.5000	32.0454	80.7454
	3	日本	細川朝香 三橋由莉子	24.5000	24.4000	32.4938	81.3938
	5	日本	熊谷日奈多 廣田樹	24.0000	23.9000	32.4286	80.3286

デュエット フリー (エントリー: 12)							
表彰	順位		EX	AI	DIF	得点	
1	1	アメリカ	Anita Alvarez Lindi Schroeder	25.7000	34.5333	26.1000	86.3333
2	2	スペイン	Gema Arquero Gabriela Fernande	25.8000	33.6000	25.1000	84.5000
3	3	ドイツ	Marlene Bojer Michelle Zimmer	24.6000	33.0667	24.9000	82.5667

3	3	日本	細川朝香 三橋由莉子	24.8000	32.6667	25.1000	82.5667
	5	日本	熊谷日奈多 廣田樹	24.1000	32.4000	24.9000	81.4000

ソロ 男子フリー (エントリー: 5)

表彰	順位			EX	AI	DIF	得点
1	1	日本	岩崎尽真	24.9000	33.0667	23.9000	81.8667
2	2	スペイン	Fernando Diaz Del Rio Soto	23.8000	32.0000	23.9000	79.7000
	3	スペイン	Dennis Gonzalez	23.1000	32.0000	22.7000	77.8000
	4	日本	佐藤陽太郎	23.2000	31.3333	23.2000	77.7333

ミックスデュエット フリー (エントリー: 5)

表彰	順位			EX	AI	DIF	得点
1	1	ロシア	MALTSEV, Aleksandr PLATONOVA, Olesia	27.7000	37.0667	27.7000	92.4667
2	2	スペイン	GARCIA, Emma RIBES, Pau	25.7000	34.5333	25.7000	85.9333
3	4	日本	岡野日和 佐藤陽太郎	23.800	30.9333	23.000	77.7333

③FINA WS アメリカ・カナダ 2022年2月19日～25日 オンライン開催

選手団編成

コーチ	酒井 麻里子	中川 加奈子	内山 まゆみ	宮川 美哉
	加島 知葉			
女子	佐藤 友花	小林 唄	川瀬 由華	廣田 樹
	川口 愛莉			
男子	佐藤 陽太郎			
審判	田中 洋子	大月 弓子		
成績				

ソロ テクニカル (出場数: 9)

順位	国	名前	IFA: FINA Independent Athlete			
			EX	IM	EL	得点
1	IFA	Varvara SUBBOTINA	27.5000	26.8000	37.2848	91.5848
2	日本	廣田樹	26.2000	24.4000	31.9916	82.5916
3	カナダ	Audrey LAMOTHE	25.8000	25.4000	30.8037	82.0037
	日本	川瀬由華	25.6000	24.7000	32.1576	82.4576
	日本	小林唄	24.3000	24.4000	30.4587	79.1587

ソロ フリー (出場数: 7)

順位			EX	AI	DIF	得点
1	フランス	Eve PLANEIX	25.9000	35.4667	26.1000	87.4667
2	日本	川瀬由華	25.5000	34.2667	24.5000	84.2667
3	スイス	Emma GROSVENOR	22.2000	28.8000	21.8000	72.8000
	日本	廣田樹	24.9000	33.3333	24.1000	82.3333

デュエット テクニカル (出場数: 10)

順位	国	名前	IFA: FINA Independent Athlete			
			EX	IM	EL	得点
1	IFA	Svetlana KOLESNICHENKO Varvara SUBBOTINA	28.1000	28.0000	37.0321	93.1321
2	フランス	Anastasia BAYANDINA Daria BAYANDINA	26.4000	26.8000	35.1151	88.3151
3	日本	小林唄 川口愛莉	24.4000	23.8000	32.0909	80.2909

ミックスデュエット フリー (出場数: 3)

順位			EX	AI	DIF	得点
1	アメリカ	Aleksandr MALTSEV Olesia PLATONOVA	27.3000	37.2000	27.4000	91.9000
2	日本	佐藤友花 佐藤陽太郎	25.2000	32.8000	24.7000	82.7000
3	プエルトリコ	Javier Enrique RUISANCHEZ TORRES ZAYAS Nicole Adriana TORRENS MERCADO	18.1000	26.1333	19.0000	63.2333

- ④ FINA ASWS 2021 ブダペスト大会 4月 ハンガリー・ブダペスト 遠征取りやめ
- ⑤ FINA ASWS 2021 アレクサンドロポリス大会 6月 ギリシャ・アレクサンドロポリス 中止
- ⑥ 世界ジュニア選手権大会 8月 カナダ・ケベックシティ 延期
- ⑦ 世界ユース選手権大会 8月 カナダ・ケベックシティ 延期
- ⑧ ロシアン・マトリョーシュカ大会 12月 ロシア・チェーホフ 遠征取りやめ

5. OWS 強化事業

2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大の状況は変わらなかったが、東京オリンピックに向け、感染予防を徹底して強化を行った。オリンピック世界最終選考会は当初、日本・福岡で開催予定であったが、ボルトガル・セトウバルに開催地が変更となった。2020年度は国際大会が中止となり、各国、国内強化合宿に集中せざるを得ない状況であり、どの選手が力をつけているかなど、レース戦略を立てづらかったが、南出大伸選手が5位、貴田裕美選手が10位で東京オリンピック出場権を獲得した(順位は1か国1名に付与)。帰国後は国内でアスリートトラック制度により隔離措置を施し、合宿を行った。東京オリンピックは暑熱環境が想定されたため、暑熱順化合宿を実施した。その結果、オリンピック世界最終選考会までの世界ランキングでは、南出選手は15位、貴田選手は20位であったが、東京オリンピックでは、両者ともに13位となった。暑熱順化がしっかりでき、暑さに負けることなく、良い結果を出すことができた。その他のワールドシリーズは大会中止や、その時の日本の感染状況により派遣中止となり、国内強化合宿に変更した。特に沖縄県石垣島や鹿児島県徳之島など、冬でも海での練習ができる地域で合宿を行った。

また、ジュニアの国際大会も同様に、世界ジュニア選手権大会が中止となり、全豪選手権大会も派遣を中止した。ジュニア選手が2020年度に続き2年間国際大会を経験していないことが懸念されたため、東京オリンピック選手を含むシニア選手との合宿を増やし、モチベーションの維持に努めた。

東京オリンピックで、これまでOWS界を牽引してきた選手が多く引退したことから、次世代の育成が急務である。世界では競泳長距離選手がOWSに出場し、スピード化が進んでいることから、2024年・2028年に向け、競泳長距離選手との合同強化も含めて、新たな発想での強化事業を実践していく予定である。

(1) 国際競技会

①OWS オリンピック最終予選 2021年6月19日・20日 ポルトガル・セトウバル

選手団編成

監督 杉山 康
コーチ 青木 和子 川原 歩 吉田 龍平
トレーナー 桑井 太陽
男子 豊田 壮 南出 大伸
女子 貴田 裕美 新倉 みなみ

成績

<男子>

氏名(所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
南出大伸(木下グループ)	6位 ^{*1}	2時間02分29秒70	22秒10
豊田壮(チームフクイ)	23位	2時間03分09秒40	1分01秒80

※1 上位者の参加国重複による繰上げランク5位

<女子>

氏名(所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
貴田裕美(コナミスポーツ)	12位 ^{*2}	2時間03分03秒00	1分07秒60
新倉みなみ(セントラルスポーツ)	19位	2時間04分55秒10	3分00秒10

※2 上位者の参加国重複による繰上げランク10位

② ワールドシリーズ	6月	ハンガリー・パラトフレド	中止
③ 世界ジュニア選手権大会	8月	セーシェル	中止
④ 全豪選手権大会	1月	オーストラリア	中止
⑤ ワールドシリーズ	1月	カタール・ドーハ	中止

6. 科学事業

競泳の国内主要大会において、競泳委員会およびJSC ハイパフォーマンスサポート事業と連携し、レース分析ならびに映像提供の科学サポートを実施した。分析結果のネット公開を通して、競技力向上を目指したデータの普及・啓発を推進した。競泳委員会と連携した合宿サポートとして、アスリート各年代を対象としたオンライン研修会ならびにジュニアナショナルチーム合宿における科学サポートへの協力を行った。

また、飛込、水球、AS、OWSの各委員会と連携し、日本選手権などの全国大会や合宿における撮影を行った(飛込:FINA 飛込ワールドカップ、日本選手権、水球:日本学生選手権、日本選手権、AS:チャレンジカップ、日本選手権、OWS:オリンピック最終予選、日本選手権ほか)。

東京オリンピックに関する科学サポートは、各強化委員会やJSCと連携・協力する形式で行った。映像撮影のほか、競泳ではレース分析のデータ提供、OWSでは合宿における暑熱順化に関するデータ測定を行った。

会議活動として、2021年日本水泳・水中運動学会年次大会(10月23・24日、日本水泳水中運動学会主催・大阪体育大学共催・本連盟後援、オンライン開催)に運営協力した。また、広報活動として、上記学会大会にて発表された有益な情報を「月刊水泳」に掲載した。専門委員会としては、2021年度から委員会構成を刷新し、より各強化と連携した科学サポートを行えるよう、種目主担当・実務担当

および委員長直轄の特任体制とした。2021年度は会議を6回開催し、さらに部門別で小会議を多数開催した。重点実施項目の確認や各事業実施経過報告に関する情報共有に重点を置いた運営体制をとることとした。

7. 医事事業

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中で国内競技会および合宿は再開され、国際大会は東京でオリンピックが開催された。医事委員会の多くの活動は、以下に示す大会運営時および合宿実施時の感染症対策となった。

- (1) 競技会開催時のガイドライン: 感染状況の変化に伴う政府や保健所の対応に準じて、適宜ガイドラインの更新を行って運用した。全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会では感染者が多く発生する事態となったため、以後の大会ではガイドラインの厳格化を行った。
- (2) 競技会救護活動: 国内主要大会へ救護医師の派遣および医薬品の配備を行った。また主要大会においてはFINAのコロナ感染ガイドラインに示されるCOVID-19 officerを配置し感染防止対策を行った。特に大会参加可否の判断を求められる事例が多かった。
- (3) 国際大会における感染拡大防止対策
FINA 飛込ワールドカップ2021兼東京オリンピック最終選考会(5/1~6;東京アクアティクスセンター)の開催にあたり、関係各機関と共同でCompetition health planを作製、ウイルス検査の実施(高島平中央総合病院・キャンオンメディカルシステムズ)、ホテルと競技会場のバブル形成の構築、FINAガイドラインで求められているCOVID-19 officerを配置しFINA Medical staffとの連携、バブル内での検査陽性時の対応を行った。入国時に1名、期間中に1名の陽性者が発生したが、感染拡大を起こすことなく大会を終えることができた。
また、世界選手権大会2021福岡の医事運営に関して、大会組織委員会とともに救護室の配置・備品の準備、医薬品の準備、救護員(医師・看護師・理学療法士)の手配を開始したが、再度の延期が決定された。
- (4) 会議活動: 2021年6月5日に日本水泳ドクター会議総会・水と健康医学研究会を、11月27日に水泳競技メディカルサポート研究会を、どちらもオンライン形式で開催した。11月の研究会では東京オリンピックのボランティア医事活動、帯同ドクター・トレーナー活動について報告がなされた。
- (5) 教育啓発活動: 各種研修会への講師派遣、JSPO公認スポーツドクター、AT養成講習会への受講者推薦を行った。
- (6) アンチ・ドーピング活動: アンチ・ドーピング委員会と協力して、アンチ・ドーピング活動を実施した。また、主要競技大会のドーピング検査会場にNF代表役員を配置した。
- (7) 各地域メディカルサポート体制の構築: 各地域でのメディカルサポート体制を充実させることを目的に、各地域で研修会を行った。各都道府県加盟団体に医事担当役員の設置を依頼した。

《合宿関係》

I 国内合宿

(1) 競泳

① ジュニア研修合宿（ブロック別合宿）

ブロック	期間	場所	スタッフ(名)	選手(名)	計(名)
北海道	-	コロナにより中止	0	0	0
東北	-	コロナにより中止	0	0	0
北関東	12/17～22	群馬県立敷島公園水泳場	11	39	50
南関東	12/17～22	千葉県国際総合水泳場	7	45	52
東京	12/22～27	東京辰巳国際水泳場	4	34	38
北信越	-	コロナにより中止	0	0	0
東海	12/18～23	静岡県立水泳場	11	45	56
近畿	12/25～28	秋葉山公園県民水泳場	7	21	28
中国	12/15～20	山口きらら博記念公園水泳プール	6	29	35
四国	-	コロナにより中止	0	0	0
九州	12/22～27	桃園市民プール	8	53	61
(計)			54	266	320

② エリート小学生合宿

研修会	9/25～26	オンライン	58	60	118
-----	---------	-------	----	----	-----

③ ジュニアナショナルチーム合宿

	12/13～21	鈴鹿スポーツガーデン	23	35	58
--	----------	------------	----	----	----

④ ナショナル強化合宿

研修会	11/3	オンライン	82	124	206
-----	------	-------	----	-----	-----

⑤ 東京五輪強化合宿

第1回	4/10～15	NTC イースト/国立スポーツ科学センター	17	36	53
第2回	5/15～17	東京スイミングセンター	14	11	25
第3回	5/21～23	笠松運動公園山新スイミングアリーナ	14	14	28
第4回	5/31～6/10	NTC イースト/千葉県国際総合水泳場	27	32	59
第5回	7/2～4	相模原市立総合水泳場	24	22	46
第6回	7/16～8/2	NTC イースト/国立スポーツ科学センター	44	32	76

⑥ 東京五輪高地合宿

第1回	4/23～5/29	GMO アスリッツパーク湯ノ丸	16	11	27
第2回	6/8～7/21	GMO アスリッツパーク湯ノ丸	20	12	32

⑦ 短水路世界選手権合宿

	11/21～30	GMO アスリッツパーク湯ノ丸	17	24	41
--	----------	-----------------	----	----	----

⑧ インターナショナル強化合宿

研修会	10/24	オンライン	7	59	66
第1回	11/8～18	GMO アスリッツパーク湯ノ丸	10	16	26
第2回	11/10～18	NTC イースト/国立スポーツ科学センター	10	10	20
第3回	12/2～11	静岡県富士水泳場	14	21	35

⑨ 世界選手権・アジア大会合宿

	3/5～10	NTC イースト/国立スポーツ科学センター	21	19	40
--	--------	-----------------------	----	----	----

⑩ 世界選手権・アジア大会サポート合宿

	3/17～30	GMO アスリッツパーク湯ノ丸	1	2	3
--	---------	-----------------	---	---	---

⑪ アジア大会フリーリレーサポート合宿

	3/16～25	NTC イースト/国立スポーツ科学センター	9	9	18
--	---------	-----------------------	---	---	----

⑫ ユニバーシティゲームズ合宿

	3/29～31	NTC イースト/国立スポーツ科学センター	19	32	51
--	---------	-----------------------	----	----	----

(2) 飛込

① 小学生・ジュニア強化対象選手合宿

	12/25～26	オンライン	5	16	21
--	----------	-------	---	----	----

② ジュニア世界選手権合宿

第1回	12/6～12	金沢プール	6	7	13
第2回	2/5～9	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	6	7	13

③ ワールドカップ強化合宿

第1回	4/3～10	東京アクアティクスセンター	10	11	21
第2回	4/18～27	日環アリーナ栃木	10	11	21
第3回	4/23～27	相模原市立総合水泳場	1	2	3

④ 東京五輪強化合宿

第1回	5/19～28	日環アリーナ栃木	11	11	22
第2回	6/9～19	日環アリーナ栃木	11	11	22
第3回	7/6～19	日環アリーナ栃木	11	11	22

⑤ ナショナル強化合宿

第1回	2/22～27	日環アリーナ栃木	11	16	27
第2回	3/14～19	日環アリーナ栃木	11	15	26
第3回①	3/23～25	東京辰巳国際水泳場	1	1	2
第3回②	3/28～31	鈴鹿スポーツガーデン	1	1	2

(3) 水球				
① U16 研修合宿				
	12/25～30	児島マリンプール／倉敷市屋内水泳センター	8	40 48
② U18 研修合宿				
	3/20～25	柏崎アクアパーク	6	44 50
③ 男子国内強化合宿				
第1回	4/6～16	富山県総合体育センター ※コロナにより中止	0	0 0
第2回	5/6～13	国立スポーツ科学センター	7	15 22
第3回	5/25～6/10	国立スポーツ科学センター／アクアドームくまもと	10	18 28
第4回	6/13～23	国立スポーツ科学センター	7	20 27
第5回	7/3～20	千葉県国際総合水泳場／東京辰巳国際水泳場	8	15 23
第6回	11/18～25	富山県総合体育センター	11	24 35
第7回	12/9～15	富山県総合体育センター	9	21 30
第8回	1/23～29	SAGA アクア	9	14 23
第9回	2/23～3/2	SAGA アクア	9	22 31
④ 女子国内強化合宿				
第1回	4/5～10	国立スポーツ科学センター	5	15 20
第2回	4/16～27	鹿児島南高等学校 ※コロナにより地方合宿中止	0	0 0
第3回	4/16～25	国立スポーツ科学センター	5	16 21
第4回	5/9～19	群馬県立敷島公園水泳場	8	16 24
第5回	5/26～30	国立スポーツ科学センター	5	15 20
第6回	6/3～11	国立スポーツ科学センター	6	15 21
第7回	6/21～7/7	日本体育大学健志台プール	5	15 20
第8回	7/7～21	山口きらら博記念公園水泳プール／ 倉敷市屋内水泳センター	10	15 25
第9回	12/5～11	富山県総合体育センター	9	22 31
第10回	1/23～28	千葉県国際総合水泳場	9	19 28
第11回	2/23～3/1	山口きらら博記念公園水泳プール	7	19 26
(4) アーティスティックスイミング				
① ジュニア世界選手権合宿				
第1回	4/2～6	門真スポーツセンター	5	13 18
第2回	5/17～22	門真スポーツセンター	3	13 16
第3回	6/1～7	門真スポーツセンター	4	13 17
② チャレンジカップ合宿				
	6/14～19	静岡県立水泳場	4	13 17
③ 小学生栄養指導合宿				

第1回	11/14	オンライン	24	16	40
第2回	12/12	オンライン	24	16	40
④ ユース有望選手強化合宿					
	9/21～23	国立スポーツ科学センター	29	29	58
⑤ ユースエリート選手強化合宿					
第1回	10/28～31	国立スポーツ科学センター	22	12	34
研修会	11/13～14	オンライン	16	12	28
第2回	12/23～26	鈴鹿スポーツガーデン	16	11	27
⑥ 男子育成強化合宿					
	12/19	オンライン	11	19	30
⑦ 東京五輪強化合宿					
第1回	4/1～10	国立スポーツ科学センター	12	10	22
第2回	4/19～5/9	国立スポーツ科学センター／ 門真スポーツセンター	7	9	16
第3回	5/12～28	門真スポーツセンター	13	9	22
第4回	6/2～10	国立スポーツ科学センター	6	9	15
第5回	6/14～7/2	門真スポーツセンター／静岡県立水泳場	15	9	24
第6回	7/5～27	国立スポーツ科学センター	11	9	20
⑧ 日本代表候補選考合宿					
	10/17～24	国立スポーツ科学センター	28	36	64
⑨ ジャンパー育成合宿					
第1回	11/6～7	横浜国際プール	16	15	31
第2回	12/4～5	横浜国際プール／NEO JUDO	13	15	28
第3回	2/5～6	横浜国際プール ※コロナにより中止	0	0	0
第4回	2/19～20	横浜国際プール ※コロナにより中止	0	0	0
⑩ 世界選手権合宿					
第1回	11/29～12/4	国立スポーツ科学センター／ 鈴鹿スポーツガーデン	11	12	23
第2回	12/9～22	鈴鹿スポーツガーデン	15	13	28
第3回	12/26～28	鈴鹿スポーツガーデン	6	12	18
第4回	1/4～13	宮城県総合運動公園	12	12	24
第5回	1/18～25	鈴鹿スポーツガーデン	21	13	34
第6回	1/31～2/4	鈴鹿スポーツガーデン	7	11	18
第7回	2/8～15	鈴鹿スポーツガーデン	16	12	28
第8回	2/19～28の間	広島県総合体育館／鈴鹿スポーツガーデン	11	13	24

第9回	3/5～30の間	広島県総合体育館/SAGA アクア	15	13	28
(5) オープンウォータースイミング					
① ジュニア世界選手権合宿					
第1回	7/24～25	三重県尾鷲市三木里海岸	3	5	8
第2回	7/31～8/1	岩手県釜石市根浜海岸	2	5	7
第3回	1/27～30	沖縄県石垣島	1	2	3
第4回	2/11～12	口論義運動公園屋内温水プール	2	2	4
第5回	2/18～19	日本大学三軒茶屋キャンパス	0	2	2
② 東京五輪サポート合宿					
第1回	4/19～5/26	GMO アスリーツパーク湯ノ丸	3	4	7
第2回	5/18～22	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	1	1	2
第3回	5/31～6/4	新潟県立長岡屋内総合プール	1	1	2
第4回	6/1～13	国立スポーツ科学センター	3	3	6
第5回	6/7～12	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	1	1	2
③ 東京五輪強化合宿					
第1回	6/22～7/7	日本大学三軒茶屋キャンパス	4	2	6
第2回	7/7～17	GMO アスリーツパーク湯ノ丸	3	2	5
第3回	7/14～17	国立スポーツ科学センター	0	1	1
第4回	7/17～23	館山市菅プール	4	1	5
第5回	7/19～27	福井運動公園水泳場	2	1	3
第6回	7/24～25	三重県尾鷲市三木里海岸	1	1	2
第7回	7/27～8/2	国立スポーツ科学センター	5	2	7
④ 世界選手権合宿					
第1回	1/27～30	沖縄県石垣島	6	7	13
第2回	2/7～12	秋葉山公園県民水泳場/ 口論義運動公園屋内温水プール	5	4	9
第3回	2/18～19・25 ～26	日本大学三軒茶屋キャンパス	7	4	11
⑤ ナショナルチーム合宿					
第1回	5/7～9	福岡県福岡市地行浜	4	7	11
第2回	5/31～6/5	静岡県熱海市長浜海水浴場	7	11	18
第3回	11/24～2/10	SAGA アクア	11	14	25
第4回	12/13～21	静岡県富士水泳場	15	16	31
第5回	1/9～14	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	7	14	21
第6回	1/16～24	GMO アスリーツパーク湯ノ丸	7	15	22
第7回	3/9～13	鹿児島県徳之島	10	15	25

＜国際交流関係＞

I. FINA (国際水泳連盟) 関係事業

(1) コングレス	(6/5:カタール・ドーハ) ※オンライン参加 (12/18:UAE・アブダビ)	鈴木 大地 竹村 馨	緒方 茂生 緒方 茂生
(2) 理事会	(12/15:UAE・アブダビ) ※オンライン参加	鈴木 大地	
(3) 委員会			
競泳	(7/22:日本・東京) (2/7:オンライン)		緒方 茂生 緒方 茂生
飛込	(7/23・29:日本・東京) (2/7・15:オンライン)		末弘 昭人 末弘 昭人
水球	(7/22・27～28・8/5～7:日本・東京) (2/7:オンライン)	黒田 克己 黒田 克己	
AS	(7/31・8/5:日本・東京) (5/19・9/28・30・10/19・23・11/6～8・10・16・22・12/15 1/12・14・19・2/8～9:オンライン)	本間 三和子 本間 三和子	
アスリート(11/16:オンライン)		竹村 馨	
(4) 競技会			
オリンピック競技大会	(7/23～8/8:日本・東京)	鈴木 大地 黒田 克己	緒方 茂生 本間 三和子
飛込ジュニア世界選手権	(12/2～9:ウクライナ・キーウ)		末弘 昭人
水球男子ワールドリーグ・スーパーファイナル	(6/26～7/1:ジョージア・トビリシ)	黒田 克己	
水球男子ジュニア世界選手権	(8/28～9/5:チェコ・ブラハ)	黒田 克己	
水球女子ジュニア世界選手権	(10/10～16:イスラエル・ネタニヤ)	黒田 克己	
水球チャレンジャーズカップ	(11/2～7:コロンビア・バランキージャ)	黒田 克己	
水球男女ワールドリーグインターコンチネンタルカップ	(3/7～13:ペルー・リマ)	黒田 克己	
(5) その他			
FINAAS 審判スクール講師(オンライン)			
	(5/29・6/5～6:オーストラリア)		本間 三和子
	(7/17～18・7/24～25:ニュージーランド)		本間 三和子

II. AASF (アジア水泳連盟) 関係事業

(1) その他

アジア大会監督者会議

(9/8～9：オンライン)

本間 三和子

アジア大会 TD 会議

(12/15・22：オンライン)

本間 三和子

III. パンパシフィック関係事業

(1) チャーターネーション会議

(3/3：オンライン)

上野 広治 村松 さやか

緒方 茂生 石井 雄二郎

IV. 派遣および招聘事業

(1) 総合大会

オリンピック競技大会 (7/23～8/8：日本・東京)

・審判 競泳 園山 直文
飛込 浅田 雅子
水球 津崎 明日美
AS 山田 智子

(2) 競技大会

・水球

女子ジュニア世界選手権 (10/10～16：イスラエル・ネタニヤ)

・審判 津崎 明日美

チャレンジャーズカップ (11/2～7：コロンビア・バランキージャ)

・審判 黒崎 千智

(3) 研修会

FINA 競泳オフィシャルセミナー (6/26～27：オンライン)

緒方 茂生 園山 直文 二見 隆久 佐藤 和人
打木 一郎 吉井 智久 松本 純一 宇佐見 文彦
小笠原 裕代 北川 麻美 岡安 敦 後藤 直之

FINA AS 新採点システムセミナー (11/2・12/4～5・11：オンライン)

本間 三和子

FINA AS コーチセミナー (1/8・12・22・29：インドネシア(オンライン))

酒井 麻里子

(4) その他

パリ視察

(2/9～14：フランス・パリ)

村松 さやか 梅原 孝之

V 普及事業

1. 指導者養成事業

2021 年度も指導者養成事業 3 委員会の重点施策として、養成講習会参加者数増と更新率の向上を目指した。地域指導者委員会では、コロナ禍で事業実施に制約があったが、加盟団体のご理解とご協力のもと基礎水泳指導員の新規養成講習会が再開され、これに伴い登録者数が復調してきた(2021 年度 1,050 名；前年比 188 名増)。これは「with コロナ」における指導者養成事業の再開に伴い、2019 年度のコーチ 1 専門科目のカリキュラム改定の影響によるものと考えている。同様に、2018～2020 年度まで中断していたコーチ 2 の新規養成講習会が京都府と福島県にて開催され、合計 19 名が修了した。コーチ 1・2 登録者数は、2022 年 3 月現在 9,729 名 (前年比 515 名減)であった。基礎水泳指導員登録数の増加は翌年度以降のコーチ 1 の新規養成増加につながる事が期待されるため、引き続き加盟団体の協力の下、指導者養成事業を推進する。

競技力向上コーチ委員会では、今後も免除適応コースの拡充を積極的に推進する。新規養成では、コロナ禍の社会情勢を鑑み、2020 年度と同様にオンライン形態での開催を試みた。139 名(コーチ 3：100 名、コーチ 4：39 名)が修了した。また、資格保有者向けの研修会は、例年対面式にて実施していたが、2021 年度はオンラインで実施した。コーチ登録者数は、2022 年 3 月現在 3919 名となった(前年 3856 名対比 63 名増加)。

水泳教師委員会では、一般社団法人日本スイミングクラブ協会(SC 協)と連携し、養成・研修会事業を実施した。コロナ禍の影響を受けて、新規養成では 70 科目の開催計画をしていたが 24 科目が中止となった。研修会事業では 24 会場の実施を計画していたが 3 会場が中止となった。教師登録者数は、2022 年 3 月現在 2,451 名(対前年比 87 名減少)と減少傾向が続いている。今後は改めて資格の目的・意義を再確認し、教師資格のステータスを高めるための受講者向けのアプローチが必要と考える。免除適応コース実施専門学校・大学の開拓も、同様に学校側に熱心に接していく必要がある。

(1) 地域指導者養成事業

① JSPO 公認水泳コーチ 1・2 に関する事業

(ア) JSPO 公認コーチ事業(新規養成、更新登録)

コーチ 1：8,413 名、コーチ 2：1,316 名(内マスター認定者 203 名)、合計 9,729 名

(イ) 47 都道府県加盟団体を通じたコーチ 1・2 養成事業

(ウ) コーチ 2 養成(ブロック開催)事業：京都府 7 名、福島県 12 名にて開催

② 本連盟基礎水泳指導員に関する事業

(ア) 47 都道府県加盟団体を通じた基礎水泳指導員養成・研修・更新登録

基礎水泳指導員資格単年度登録者数：1,050 名

(イ) アスリート基礎水泳指導員資格免除認定審議(2021 年 4 月～22 年 3 月)：17 名

(ウ) 免除適応校専門科目検定

・専門学校 16/16 名(合格者数/受験者数 以下同様)

北海道：9/9 名、東京都：1/1 名、大阪府：6/6 名

・大学 16/17 名

日本女子体育大学：14/14 名、大阪体育大学：0/1 名、順天堂大学：2/2 名

(エ) 第 45 回全国地域指導者(普及)委員長会議の開催

2021年6月12日(土) オンラインにて開催

③ 普及に関する事業

(ア) 水泳の安全対策に関する研究

(イ) 加盟団体各地区委員長会議・研修会の開催・派遣

- ・2021年10月17日：北海道・東北ブロック(盛岡)
- ・2021年10月31日：近畿ブロック(京都)
- ・2022年1月29日：九州ブロック(オンライン)
- ・2022年3月24日：関東ブロック(オンライン)

(2) 競技力向上コーチ養成事業

① コーチ資格審査(上級昇格 年2回)の実施

競泳20名・飛込0名、水球3名、AS4名、OWS1名、合計28名がコーチ4に昇格

② コーチ資格の新規および更新登録事業

3919名(コーチ3:3057名、コーチ4:862名)名の新規および更新登録が完了した。

③ コーチ研修会事業

初のオンライン形式で実施した。受講完了者数は2889名(コーチ3:2322名、コーチ4:567名、ただし、免除者および未完了者を除く)、講義録を作成した。

④ 養成事業の推進(コーチ)

コーチ3:100名(競泳56名、飛込9名、水球3名、AS17名、OWS15名)および
コーチ4:39名(競泳34名、飛込4名、水球1名)が参加

⑤ 免除適応コース実施校の開拓

現在20校(2021年度追加はなし)、修了者数97名

⑥ 公認スポーツ指導者管理システムの活用

再登録および養成講習会申込入力時に活用、種目別に分化

(3) 水泳教師養成事業

① 水泳教師新規養成事業の推進(SC協と合同推進)

(ア) 適応コース講習検定会の実施(本連盟が担当)

- ・東京YMCA社会体育専門学校「会場」2022年1月17日～19日開催
対面講習会開催・検定試験実施 補講および試験 2月1日実施
東京YMCA社会体育専門学校および大阪社体スポーツ専門学校の学生が参加

(イ) 新規養成コース講習検定会の実施(SC協が担当)

- ・専門科目講習会:70科目開催計画(24科目【中止】)

(ウ) 適応コース認定校の新規開拓(本連盟が担当)【中止】

② スキルアップ講習会の開催(本連盟が担当)

- ・スキルアップセミナーⅠ(東京会場)
連合会館「201会議室」2022年3月27日(日)中止(開催する運びで進めたが、参加者が集まらず中止)
- ・スキルアップセミナーⅡ(愛知会場)【中止】
- ・スキルアップセミナーⅢ(神奈川会場)【中止】

③ 水泳教師資格の新規・更新登録事業(SC協と合同推進)

- ・2021年4月、10月「本連盟・SC協合同検定委員会」の開催

④ 水泳教師資格更新研修会事業(SC協と合同推進)

- ・SC協 全国10支部の各会場にて開催
更新研修会:24会場開催計画(3会場【中止】)
- ・5月更新研修会受講通知発送(本連盟が担当)
- ・JSPO「再登録」制度への対応(本連盟が担当)

⑤ 水泳教師在籍施設証明事業の推進(SC協と合同推進)

- ・4月・10月認定 認定施設の新規・更新登録事業
- ・8月・2月「月刊水泳」に在籍施設証明事業パンフレット封入
- ・本連盟・JSPO HPに「水泳するならこの施設」定時更新

2. 生涯スポーツ事業

(1) 日本スポーツマスターズ大会

本大会は、生涯スポーツのより一層の普及と振興を目的とした、JSPOとの共催による、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象とした大会である。2021年度は、児島マリンプール(岡山県倉敷市)にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。

大会名	開催日程	会場	参加者数
日本スポーツマスターズ 2021岡山大会	2021年8月28日 ～8月29日	児島マリンプール	中止

(2) 水泳の日2021

8月14日に大阪府大阪市の丸善インテック大阪プールにおいて、「水泳の日2021・大阪」を開催した。このイベントは、本連盟の掲げる使命の1つ「国民皆泳」を目指した事業であり、世代を超えて、「命を守ることができるスポーツ」水泳のさらなる普及発展、競技力向上、競技人口の裾野を広げるきっかけとして実施されている。なお、2021年度は、本連盟、SC協、(一社)日本マスターズ水泳協会、(一社)日本パラ水泳連盟の水泳4団体と、近畿2府4県水泳連盟・協会で構成する実行委員会にて主催し、コロナ禍ではあったが、感染防止対策を徹底した上で総入場者数1,440名にて開催され、大いに盛り上がった。加盟団体主催では、東京会場・石川県金沢会場・福島県郡山会場・愛知県名古屋会場の4会場にて開催された。

① エキシビジョン(公開型イベント)

始泳式では、東京オリンピック競泳日本代表の難波実夢選手をはじめ、マスターズ水泳世界新記録保持者の大崎喜子さんやパラスイマー、県内在住のジュニアスイマーが得意な泳法を披露した。続いて、AS、日本泳法、飛込、水球、OWSの順で日本代表や第一人者による模範演技やエキシビジョンタッチが行われ、フィナーレには井村雅代コーチの解説による東京オリンピックAS日本代表チームのテクニカルルーティン、ソロフリールーティン、デュエットテクニカルルーティン、チームフリールーティンなど、模範演技が行われた。

② アクアティクス体験(参加型イベント)

メインプールでは、競技イベントとして子どもから大人までが参加した「ふれあいリレー」や「チャレンジリレー」、「泳力検定」と「Mermaid レッスン(AS)」や「アクアゲーム(水球)」の体験教室を実施した。飛込プールでは、「TOBIUOクリニック(競泳)」や「翼レッスン(飛込)」、「OWSクリニック」、「SAMURAI スイミング(日本泳法)」の体験教室と、「ブラインドスイミング体験会」、「水中動画撮影会」を実施した。競技イベント、体験教室ともに多数のオリンピック協力の協力により、大いに盛り上がった。

(3) 泳力検定

本事業は、生涯スポーツとしての水泳の普及を目的に1998年から実施している。トビウオジャパンの活躍もあり、日本水泳界が一段と盛り上がりを見せつつある中で、泳力検定会も全国各地で開催され、泳力検定事業が水泳愛好者に浸透してきたことを示している。本年度もオリンピックをゲストに招き「ニチレイチャレンジ特別泳力検定会」の開催を全国各地で予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う開催中止が相次ぎ、残念ながら6会場での開催

にとどまった。

さらなる泳力検定の普及のため、HP および公式 SNS を活用した広範な情報発信に努めた。

3. OWS 普及事業

OWS の安全な普及に必要な事業を、以下のとおり実施した。

- (1) OWS スイムクリニック、OWS 検定事業の開催
 - (ア) スイムクリニック参加者合計 39 名
 - (イ) 検定参加者合計 98 名
- (2) OWS 審判員養成
 - (ア) 審判講習会開催 (4 月 3 日、9 月 25 日、2 月 6 日リモート開催) 参加者合計 83 名
- (3) OWS 指導員養成
 - (ア) 指導者講習会 3 名
- (4) OWS 公認コーチ養成
 - (ア) OWS 公認コーチ 3 養成講習会 15 名
- (5) 認定 OWS 大会の標準化と拡大
 - (ア) 認定 OWS 大会支援 (2021 年 6 月～10 月)
ひめじ家島、館山、三重、釜石、すさき OWS 大会への審判員・安全管理員派遣
 - (イ) 認定 OWS 大会・全国担当者会議の開催 (2021 年 11 月 8 日・リモート会議)
- (6) 認定 OWS 大会サーキットシリーズ年間優秀選手表彰
※4 大会のみの開催につき、年間ポイント集計による表彰事業は中止

4. 日本泳法保存事業

- (1) 第 66 回日本泳法大会
本大会は、わが国近代水泳史の礎となった日本泳法の後継者育成と技能の保存と普及を目的に 1956 年より開催され、現在は、現存 13 流派のジュニア (中学生以下) からシニア層までが参加できるよう、12 種目の競技と 7 資格の審査から成っている。
本年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、8 月 21 日～22 日の日程で千葉県習志野市において 2 年ぶりに開催した。
遠隔地からの参加見送りなどの影響で例年の 6 割ほどの参加人数ではあったが、予定した各競技と資格審査を無事実施することができた。
- (2) 第 69 回日本泳法研究会 (課題: 日本泳法と遠泳～その歴史と現在～)
今回は「遠泳」を切り口に流派横断的に日本泳法委員会が調査、研究し、発表を行った。古来、自然水で泳いでいた日本泳法では、自然と和すという精神の下、現在でも海、川、湖沼などにおいて、タイムを競わない長距離泳「遠泳」を継承し継続的に実施していることが明らかになった。
集合開催を断念しオンライン配信により実施したが、申込みは 346 名と通常年と変わらない参加申込者数であった。研究発表終了後はオンライン交流会を開催し、全国の日本泳法ファミリーの交流を図ることができた。
- (3) 東京オリンピック “泳いで聖火リレー” の実現
4 月 18 日、香川県高松市の玉藻公園の濠を和船に乗った聖火が進む中、水任流の泳者がそれを伴泳しながら見事な泳法を披露した。
4 月 24 日には、大分県臼杵市の臼杵川を、臼杵山内流の泳者が聖火を掲げ泳いで渡るという歴史的快挙が実現した。
なお、計画では東京、広島でも予定コースに組み込まれていたが、公道の聖火リレーが中止となり実現できなかったことは誠に残念であった。

(4) 游士資格審査会 (千葉会場)、第 14 回日本泳法研鑽会

5 月 15 日に、千葉県国際総合水泳場において、表記の審査会と研鑽会を実施した。游士資格審査会は 14 名が参加し 8 名が合格、研鑽会は 13 名が参加した。両事業の実施を通じて、8 月に開催する予定の日本泳法大会の実施シミュレーションを行った。

なお、游士資格審査会 (和歌山会場・東京会場) は、直前の新型コロナウイルス感染状況に鑑み中止とし、第 15 回日本泳法研鑽会は日本泳法研究会終了後に開催予定であったが、研究会がオンライン開催となったため中止とした。

(5) 広報活動

月刊水泳に、「水泳ニッポンのルーツを訪ねて」と題し、日本泳法と水泳競技史を毎月継続連載した (通算 60 回/2022 年 3 月時点)。

また、海外向け政府広報オンラインマガジン「HIGHLIGHTING Japan」からの依頼に基づき、8 月号に日本泳法の概説記事 (英語版) を掲載した。

(6) その他

第 66 回日本泳法大会と第 69 回日本泳法研究会と時期を合わせ、「流派連絡会議」「資格審査専門委員会」を文書会議で開催、また「審判研修会」をレポート方式で実施した。

5. 機関誌「月刊水泳」発行事業

東京オリンピックの開催に伴い、各競技のレポートはもとより、運営、審判やジャッジ、監督、ヘッドコーチらの報告を掲載した。東京オリンピックで得た経験を誌面に載せることで残し、未来につないでいくことができた。国内大会は夏に各種全国大会が開催されたことで誌面が賑わった。

6. 広報関係

(1) ホームページ (HP) の管理・更新事業

東京オリンピックをはじめとする国際大会や国内の全国大会が多く開催されたことで、トピックスは例年のように充実した。セキュリティ面が強化された HP 全体の運用管理については、一般のファンに向けた情報発信に課題を残した。

(2) 広報・報道対応事業

大会取材について、2020 年度上半期はオンラインも活用したハイブリッド方式でのインタビューを行った。下半期には引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、ミックスゾーンを設置しての対面での取材を再開した。今後は感染状況を確認しつつ、報道関係者への来場制限も見直していく予定である。

(3) 公式 SNS

2020 年度よりスタートさせた SNS の情報を少しずつだが拡大することができた。情報が増えることによって、Facebook、Instagram、Twitter それぞれのアクセス数も、対開設時約 200% を実現した。Facebook ページへのいいね数、Instagram、Twitter のフォロワー数も確実に増やすことができた。

(4) 創立 100 周年記念誌発行準備

編纂準備委員会を立ち上げて隔月での会議を開催した。内容の進行状況の確認と進め方、内容の精査に取りかかった。さらに責任担当編集者および制作委託会社を決定した。

VI 組織運営のための共通事業

1. 総務関係事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策を日々講じつつ、各種対応に注力した。本連盟各会議および地域会議の準備・開催を通じて、内外の関係者・関係団体との情報共有および意思疎通を図り、円滑な業務遂行を図った。「水泳ニッポン・中期計画 2017—2024」の進捗管理・公表を行った。「スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査」の受審、「自己説明」の提出を行うとともに、本連盟を取り巻く社会環境の変化に即応した各種規程の改廃、オンラインによる業務推進を図った。本連盟事務局の労務環境を管轄し、各種業務の効率化を目指す取り組みを実施した。

(1) 地域会議の開催

例年のとおり、10月から12月にかけて全国9ブロックの各地に出向き、本連盟の事業方針や重点施策についての説明、質疑応答、情報交換を実施した。

(2) 中期計画の進捗管理・公表

「水泳ニッポン・中期計画 2017—2024（2020年度進捗報告）」を本連盟HPに掲載し、掲げた目標の進捗状況を報告した。

(3) ガバナンスコード適合性審査対応、規程・ガイドラインなどの改廃および策定

「スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査」を受審し、「適合」の判定を受けるとともに、実際の取組状況を「自己説明」として書面で提出し、本連盟HPに掲載・公開した。また、各種規程・ガイドラインなどの改廃および策定もあわせて実施した。

(4) オンラインによる業務推進

「まん延防止等重点措置」などの新型コロナウイルス感染症に関わる社会情勢に応じて、本連盟事務局への立ち入りを制限し、全委員会を対象に、会議をオンラインで行うなどの感染拡大防止の徹底を図った。

2. アスリート委員会関係

(1) FINA アスリート委員会への意見集約

FINA アスリート委員会の議題を共有するとともに、委員および水泳の指導現場からの考えや意見を集約し、FINA アスリート委員会に提出した。

(2) 競技者としてのモラルの向上、啓発活動の実施

競技会場における選手・保護者・指導者に向けたトークショーは、コロナ禍の影響で各大会が無観客開催となったため中止とした。代替策として、JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会にて現役選手やOBOG11名の応援メッセージVTRを会場で流すとともに、本連盟公式SNSでも配信した。

(3) 社会貢献活動の実施

国体開催県での水泳普及活動は国民体育大会が中止となったため、当該活動も中止とした。

(4) オリンピアン OBOG へ向けた情報の発信、事業協力の呼びかけ

オリンピアン OBOG に対し、JOC オリンピアン研修会などの情報を提供するとともに、本連盟の水泳普及事業の説明および協力依頼を行った。

3. その他の普及事業

(1) ばちやぼなどに関わるライセンス事業

本連盟公認キャラクター「ばちやぼ」を活用したライセンス事業を、関係企業と連携して実施した。

＜競技条件整備事業関係＞

1. 競技者・競技役員登録数

	競技者	団体	会員	競技役員	
1	北海道	2,493	206	1	133
2	青森	891	52	0	17
3	岩手	1,068	55	2	28
4	宮城	1,911	93	0	126
5	秋田	895	52	0	61
6	山形	1,251	61	0	0
7	福島	1,403	73	13	97
8	茨城	2,246	118	2	115
9	栃木	1,413	76	1	71
10	群馬	1,582	90	3	45
11	埼玉	5,378	176	4	81
12	千葉	4,071	166	0	116
13	東京	10,919	594	0	426
14	神奈川	7,508	255	6	236
15	山梨	838	36	0	18
16	長野	1,811	112	17	113
17	新潟	1,984	96	0	71
18	富山	850	54	37	73
19	石川	1,064	59	0	71
20	福井	569	41	0	18
21	静岡	3,829	176	15	126
22	愛知	7,054	290	59	233
23	三重	1,526	91	2	97
24	岐阜	1,931	85	0	45
25	滋賀	1,260	55	0	33
26	京都	2,148	95	2	71
27	大阪	6,940	310	4	171

2022年3月31日現在

	競技者	団体	会員	競技役員	
28	兵庫	6,116	312	1	111
29	奈良	1,129	50	0	59
30	和歌山	1,066	54	0	0
31	鳥取	792	65	0	16
32	島根	638	48	0	46
33	岡山	1,380	83	3	86
34	広島	1,998	117	19	98
35	山口	1,187	60	0	51
36	香川	1,120	47	0	32
37	徳島	446	30	6	41
38	愛媛	1,445	82	2	40
39	高知	869	47	0	70
40	福岡	4,218	205	2	84
41	佐賀	759	50	0	18
42	長崎	1,833	96	0	61
43	熊本	1,995	98	0	90
44	大分	805	65	0	14
45	宮崎	760	56	0	17
46	鹿児島	1,729	98	6	55
47	沖縄	1,064	62	0	14
	関東	2,887	87		
	中部	963	43		
	関西	1,223	54		
	中四国	514	34		
	九州	528	28		
	北部	432	23		
	合計	112,729	5,561	207	3,695

※競技者数は実数で表示

2. 各種審判員登録数

2022年3月31日現在

	競泳審判			飛込審判			水球審判					A S 審判			O W S 審判			
	A	B	C	A	B	C	上級	1級	2級	3級	4級	A	B	C	A	B	C	
1	北海道	0	20	107	0	2	3											3
2	青森	1	3	9	0	0	0											
3	岩手	2	6	12	0	1	0				1							2
4	宮城	0	23	98	2	1	2											
5	秋田	0	16	43	0	1	3	1										
6	山形	0	0	0	1	1	0											1
7	福島	1	30	64	3	1	7											8
8	茨城	0	32	61	5	5	4											
9	栃木	3	12	56	3	0	2											
10	群馬	7	7	29	3	2	6				1							
11	埼玉	2	30	28	5	2	3	1	1			1	1					
12	千葉	0	19	51	1	2	0	1			2	3	24					1
13	東京	3	79	247	6	4	3				1			3	2	5		2
14	神奈川	2	32	186	4	2	2	2					1					
15	山梨	1	7	11	0	0	0				1							
16	長野	2	32	67	2	3	1					1						1
17	新潟	4	34	30	2	2	0				2							2
18	富山	1	3	51	2	1	5				1			2	1			1
19	石川	2	24	25	7	9	5					3			1			2
20	福井	1	0	7	0	0	0											
21	静岡	7	60	58	4	1	7				1							3
22	愛知	3	21	192	2	3	6					1	2		1	1		3
23	三重	1	22	50	1	1	10					1	2					2
24	岐阜	0	6	35	0	0	0					1	4					1
25	滋賀	0	4	25	0	1	2				1			3				
26	京都	1	25	38	2	1	0				1		1	4	1			
27	大阪	5	62	82	4	1	5					1			2	3		
28	兵庫	1	38	68	7	1	5				1	1	3					3
29	奈良	0	24	30	4	2	4					1	2					
30	和歌山	0	0	0	0	1	1											
31	鳥取	0	6	8	2	2	2											
32	島根	1	11	31	1	4	3					1	1					2
33	岡山	0	20	47	1	4	11											1
34	広島	0	16	71	1	2	2					1	3					2
35	山口	1	17	29	0	0	2						1					
36	香川	2	17	8	1	1	1					1	1					
37	徳島	4	25	12	0	0	0											
38	愛媛	0	15	24	0	0	0											
39	高知	0	14	40	1	3	1											4
40	福岡	2	15	56	2	2	5	1			1	1						4
41	佐賀	0	4	10	0	3	3					2						2
42	長崎	1	30	23	0	0	0											1
43	熊本	4	23	55	0	0	0					2			1	3		
44	大分	0	7	1	1	1	0					1		2				
45	宮崎	1	9	10	0	1	0											
46	鹿児島	1	37	17	0	1	3											
47	沖縄	0	2	3	0	2	2						5	2				
	関東																	
	中部																	
	関西																	
	中四国																	
	九州																	
	合計	67	939	2,205	80	77	121	6	3	7	28	63	9	9	57	0	0	31

3. 指導・講習・研修

(1) 競泳：競技役員・審判研修会、競技会指導

競技委員会

開催種別	開催県	開催会場	開催日程	派遣講師名	参加人数	備考
近畿ブロック	大阪	桃山学院高等学校	2021年4月11日(日)	後藤・二見	106名	219名 A:4 B:77 C:88 新着:55 他種別:0
四国ブロック	徳島		2021年4月18日(日)	後藤・二見	75名	75名 A:5 B:20 C:30 新着:20 他種別:0
東北ブロック	秋田	秋田アムナ	2021年4月18日(日)	高橋・菅谷	147名	104名 A:5 B:36 C:31 新着:32 他種別:0
加東団体	静岡	静岡県社会福祉会館	2021年4月18日(日)	藤森・佐藤	103名	103名 A:3 B:10 C:20 新着:70 他種別:0
東海ブロック	三重	じばさん三重	2021年4月29日(水)	藤森・佐藤	110名	100名 A:3 B:24 C:49 新着:24 他種別:0
加東団体	福島	郡山ユウクス熱海	2021年5月9日(日)	藤森・佐藤	90名	105名 A:5 B:46 C:71 新着:39 他種別:0
加東団体	富山	高岡総合プール	2021年5月15日(土)	二見・菅谷	110名	62名 A:2 B:8 C:14 新着:39 他種別:0
北信越ブロック	長野	アタアウイング	2021年5月16日(日)	後藤・岡安	68名	140名 A:3 B:30 C:15 新着:20 他種別:0
加東団体	神奈川	日生横須尾上町ビル	2021年5月29日(土)	後藤・二見	178名	178名 A:3 B:16 C:60 新着:100 他種別:0
北海道ブロック	北海道	平岸プール	2021年6月12日(日)	吉井・松本	185名	185名 A:5 B:50 C:100 新着:30 他種別:0
加東団体	高知	ちより館アラス ちよらアホール	2021年9月23日(水)	高橋・後藤	68名	68名 A:2 B:18 C:31 新着:17 他種別:0
加東団体	新潟	ダイエープロビス フェニックスプール	2021年10月3日(日)	中止	各	各 A: B: C: 新着: 他種別:
九州ブロック	長崎	長崎市民総合プール 会館	2021年11月13日(土)	二見・内野	116名	53名 A:16 B:32 C:5 新着:0 他種別:0
加東団体	学生委員会		2021年11月27日(土)	藤森・後藤	名	193名 A: B: C:8 新着:149 他種別:37
関東ブロック	栃木	日興アリーナ栃木	2022年8月6日(日)	高橋・菅谷	116名	75名 A:5 B:18 C:54 新着:18 他種別:0
加東団体	埼玉	立教新座中学校・高等学校	2022年8月6日(日)	加東団体職員に変更	名	名 A: B: C: 新着: 他種別:
加東団体			年 月 日()	-	名	名 A: B: C: 新着: 他種別:
九州ブロック			年 月 日()	-	名	名 A: B: C: 新着: 他種別:
加東団体	茨城	茨城県立県民交流センター	2022年8月13日(日)	二見・後藤	50名	53名 A:8 B:8 C:36 新着:1 他種別:0
加東団体	茨城	三輪田学園	2022年8月13日(日)	加東団体職員に変更	名	名 A: B: C: 新着: 他種別:
長野県水泳連盟			2021年6月26日(土)	高橋・		
三重県水泳連盟			2021年7月11日(土)	鈴木・高橋		
千葉県水泳連盟			2021年7月22日(土)	菅谷・		

(2) 飛込：審判員研修会

飛込委員会

A級	B級	C級	C級取得予定	合計
59名	57名	55名	17名	188名

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、オンデマンドでの研修とオンラインでのテストを実施

(3) 水球：審判員・指導者講習会、審判員派遣

水球委員会

ブロック名	場所	開催日程	参加人数
東北ブロック	オンライン講習会	4月18日	28名
北信越ブロック	オンライン講習会	4月18日	66名
関東ブロック	オンライン講習会	4月18日	85名
東海ブロック	オンライン講習会	4月18日	76名
近畿ブロック	オンライン講習会	4月18日	49名
中国ブロック	オンライン講習会	4月18日	32名
四国ブロック	オンライン講習会	4月18日	12名
九州ブロック	オンライン講習会	4月18日	54名

(4) AS：審判長派遣、審判員研修会・講習会

AS委員会

①審判長派遣事業

日程	派遣先	大会	派遣
1 5月23日(日)	広島	チャレンジ予選中四国ブロック(岡山主催)	派遣中止
2 7月3日(土)・4日(日)	新潟	全国JOCジュニアオリンピックカップ北信越ブロック予選 国民体育大会ブロック予選	井上 信子
3 7月17日(土)・18日(日)	岡山	全国JOCジュニアオリンピックカップ中四国ブロック予選 国民体育大会ブロック予選	鷺見 朗子
4 7月17日(土)・18日(日)	山形	全国JOCジュニアオリンピックカップ東北ブロック予選 国民体育大会ブロック予選	小川みゆき

②公認 AS 審判研修会

日程	主催	講師	備考
1 7月3日(土)	長野	井上 信子	参加者数:23名(B級4名・C級19名)
2 7月17日(土)	岡山	鷺見 朗子	参加者数:10名(B級2名・C級8名)
3 7月17日(土)	山形	小川みゆき	参加者数:6名(B級3名・C級3名)
4 8月21日(土)~24日(火)	本連盟	審判部	参加者数:32名(C級6名・B級6名・C級20名)
5 11月28日(日)	三重	山田 智子	参加者数:14名(B級4名・C級10名)
6 3月5日(土)	本連盟	審判部	参加者数:176名(A級29名・B級36名・C級104名)

③公認 AS 審判養成講習会および検定試験審判研修会

日程	主催	講師	備考
1 11月13日(土)	本連盟	審判部	受験者数:A級1名 B級14名 C級8名 合格者数:B級10名 C級5名
2 11月27日(土)	石川	田中 洋子	受験者数:C級10名 合格者数:C級9名

③その他の活動

- 新規登録および更新登録受付処理
- 大会におけるジャッジの推薦とアサイメント作成
- 大会におけるジャッジの推薦とアサイメント作成
- 検定合格通知・登録新規/更新者申請書類送付
- オンライン AS ジャッジスクール運営

(5) OWS : 審判員講習会

OWS 委員会

	開催地	開催会場	開催日程	派遣講師名	参加人数
本連盟	東京	Zoom 配信	2021年4月3日	大貫・石井・藤澤	16名
本連盟	東京	Zoom 配信	2021年9月25日	大貫・石井・萩原	24名
本連盟	東京	Zoom 配信	2022年2月6日	大貫・石井・藤澤	43名

(6) 科学

科学委員会

事業名	開催日程	開催会場	参加人数
2021年日本水泳・水中運動学会年次大会 日本水泳・水中運動学会主催、 大阪体育大学共催、本連盟後援	10月23日(土) ・24日(日)	オンライン	120名

(7) 医事

医事委員会

事業名	開催日程	開催会場	参加人数
第33回日本水泳ドクター会議総会 第23回水と健康医学研究会	2021年6月5日	オンライン	ドクター 65名 トレーナー 28名
第9回水泳競技メディカルサポート研究会	2021年11月27日	オンライン	ドクター 18名 トレーナー 66名
トレーナー会議【夏季研修会】	未実施	未実施	
トレーナー会議【BLS研修会】	未実施	未実施	
トレーナー会議【基礎研修会】	2022年3月	オンデマンド	25名
中部・北信越・東北・北海道ブロック合同研修会	2021年12月5日	オンライン	ドクター 25名 トレーナー 31名
関西ブロック合同研修会	2021年1月15日	オンライン	ドクター 21名 トレーナー 23名 非会員 2名
九州・沖縄・中国・四国ブロック合同研修会	2022年1月30日	オンライン	ドクター 31名 トレーナー 39名 非会員 7名
関東ブロック合同研修会	2022年2月25日	オンライン	ドクター 20名 トレーナー 47名 非会員 1名

4. 日本新記録および学生・高校・中学・学童記録の公認

		4/2		4/10		5/21		6/6		7/20	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
長水路	日本記録			5	5					3	1
	学生記録				3					1	1
	高校記録				4						
	中学記録	1	1						1		
	学童記録	3	3								
短水路	日本記録										
	学生記録					4	1				
	高校記録	6	3				3				
	中学記録	5	5								
	学童記録	1	1								

		8/4		10/5		10/17		1/13		2/25	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
長水路	日本記録	1	1					1	1		
	学生記録	1	1					1	1	1	1
	高校記録										
	中学記録									2	2
	学童記録				1					3	1
短水路	日本記録					3	3			1	1
	学生記録					2	2	5	2	6	2
	高校記録								4	2	2
	中学記録					2	2	3	1		
	学童記録									1	1

		3/5		3/15		3/31	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
長水路	日本記録	3	2				
	学生記録	3	3				
	高校記録	1	1				
	中学記録	1	1				
	学童記録			1	1		
短水路	日本記録			1	1		
	学生記録						
	高校記録						
	中学記録					2	2
	学童記録			1	1	4	4

5. プール公認

50m (新1・再47)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
50m	5680	SAGA アクア 50m プール	佐賀県	2026/9/30	RC	内
50m	再 5625	秋田県立総合プール	秋田県	2026/3/31	RC	内
50m	再 5645	コナミスポーツクラブ本店西宮	兵庫県	2026/4/30	SS	内
50m	再 5470	函館市民プール	北海道	2026/5/31	RC	内
50m	再 5595	大阪府立門真スポーツセンタープール(メインプール) 国際	大阪府	2026/3/31	RC	内
50m	再 5596	大阪府立門真スポーツセンター(メインプール)	大阪府	2026/3/31	RC	内
50m	再 5597	大阪府立門真スポーツセンター(サブプール)	大阪府	2026/3/31	RC	内
50m	再 5598	大阪プール(50m競泳プール) 国際	大阪府	2026/5/31	RC	内
50m	再 5265	下関市市民プール	山口県	2026/7/31	AL	外
50m	再 5471	館林市城沼市民プール	群馬県	2026/5/31	AL	外
50m	再 5646	尾崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設 50mプール	兵庫県	2026/4/30	RC	内
50m	再 5662	AQIT イトマンスイミングスクール東京強化校	東京都	2026/5/31	RC	内
50m	再 5647	酒田市光ヶ丘プール	山形県	2026/7/31	RC	外
50m	再 5532	さつき公園プール	福島県	2026/7/31	PC	外
50m	再 5626	くろしおアリーナ (B級)	高知県	2026/5/31	RC	内
50m	再 5664	金沢プール	石川県	2026/7/31	RC	内
50m	再 5599	大村市民プール	長崎県	2026/6/30	SS	外
50m	再 5472	加賀市中央公園競泳プール	石川県	2026/6/30	SS	外
50m	再 5276	青森県総合運動公園水泳場	青森県	2026/9/30	RC	外
50m	再 5533	広島市総合屋内プール	広島県	2026/7/31	RC	内
50m	再 5531	神戸ポートアイランドスポーツセンター	兵庫県	2026/9/30	RC	内
50m	再 5600	長崎市民総合プール	長崎県	2026/10/31	RC	内
50m	再 5391	江津市民プール	島根県	2026/6/30	RC	外
50m	再 5393	桑名市民プール	三重県	2026/7/31	RC	外
50m	再 5534	山形市総合スポーツセンター屋外プール	山形県	2026/9/30	RC	外
50m	再 5537	下田市数根公園屋内温水プール	静岡県	2026/10/31	PC	内
50m	再 5064	府中市民総合プール	東京都	2026/9/30	RC	外
50m	再 5542	名古屋市長総合体育館レインボープール競泳プール	愛知県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5543	名古屋市長総合体育館レインボープール50m温水プール	愛知県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5666	武蔵野の森総合スポーツプラザ屋内 50m プール	東京都	2027/4/30	RC	内
50m	再 5629	京都市西京極総合運動公園プール(京都アクアリーナ)	京都府	2027/3/31	RC	内
50m	再 5478	沖縄県総合運動公園 50mプール	沖縄県	2026/10/31	RC	外
50m	再 5535	各務原市民プール	岐阜県	2026/9/30	RC	外
50m	再 5536	前畑古川記念プール(旧:橋本市運動公園プール)	和歌山県	2026/9/30	FRP	外
50m	再 5399	金田一近隣公園プール	岩手県	2026/10/31	AL	外
50m	再 5628	邑南町立羽須美中学校プール	島根県	2026/11/30	RC	外
50m	再 5400	倉敷市屋内水泳センター	岡山県	2026/11/30	S	内
50m	再 5540	早稲田大学所沢校地屋内プール(併用プール)	埼玉県	2027/1/31	RC	内
50m	再 5602	帯広の森市民プール	北海道	2026/11/30	RC	内
50m	再 5603	群馬県立敷島公園水泳場	群馬県	2027/1/31	RC	内
50m	再 5227	由利本荘市本荘プール	秋田県	2027/1/31	PS	外
50m	再 5480	北海道立野幌総合運動公園	北海道	2027/3/31	RC	内
50m	再 5633	青木町公園総合運動場市民プール	埼玉県	2027/4/30	RC	外
50m	再 5539	福井市東山健康運動公園コミュニティプール	福井県	2027/1/30	SS	内
50m	再 5127	日本大学工学部水泳プール	福島県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5604	隼プール	鳥取県	2027/3/31	RC	外
50m	再 5541	兵庫県立社高等学校プール	兵庫県	2027/3/31	AL	外

50m	再 5547	霧島市国分総合プール 50m	鹿児島県	2027/3/31	RC	外
-----	--------	----------------	------	-----------	----	---

25m (新2・再58)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
25m	2933	鳥取県倉島取屋内プール	鳥取県	2026/6/30	FRP	内
25m	2934	SAGA アクア 25m プール	佐賀県	2026/9/30	RC	内
25m	再 2843	秋田県立総合プール	秋田県	2026/3/31	RC	内
25m	再 2873	コナミスポーツクラブ本店西宮 25m (A)	兵庫県	2026/4/30	SS	内
25m	再 2874	コナミスポーツクラブ本店西宮 25m (B)	兵庫県	2026/4/30	SS	内
25m	再 2909	葛飾区水元体育館温水プール	東京都	2026/3/31	FRP	内
25m	再 2842	宇都宮市河内総合運動公園屋内プール	栃木県	2026/3/31	RC	内
25m	再 2769	西脇市天神池スポーツセンター温水プール	兵庫県	2026/5/31	SS	内
25m	再 2754	吉川市屋内温水プール	埼玉県	2025/6/30	SS	内
25m	再 2872	SAGA サンライズパーク水泳場	佐賀県	2026/3/31	RC	内
25m	再 2763	大阪府立門真スポーツセンター	大阪府	2026/3/31	RC	内
25m	再 2766	大阪プール(25m競泳プール)	大阪府	2026/5/31	RC	内
25m	再 2661	山形県総合運動公園屋内プール	山形県	2026/4/30	RC	内
25m	再 2875	尾崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設 25m プール	兵庫県	2026/4/30	FRP	内
25m	再 2767	三木山総合公園内屋内プール	兵庫県	2026/4/30	SS	内
25m	再 2846	くろしおアリーナ	高知県	2026/5/31	RC	内
25m	再 2768	広島県立障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター	広島県	2026/5/31	FRP	内
25m	再 2665	前橋市大渡温水プール	群馬県	2026/6/30	RC	内
25m	再 2844	サム松本	長野県	2026/4/30	SS	内
25m	再 2333	岡谷市民屋内水泳プール	長野県	2026/6/30	SS	内
25m	再 2910	金沢プール	石川県	2026/7/31	RC	内
25m	再 2521	小吹運動公園屋内プール	茨城県	2026/6/30	RC	内
25m	再 2522	調布市総合体育館プール	東京都	2026/6/30	RC	内
25m	再 2772	深谷グリーンパーク アクアパラダイス『パティオ』	埼玉県	2026/10/31	SS	内
25m	再 2895	新田町野民温水プール	福岡県	2026/9/30	FRP	内
25m	再 2666	広島市長総合屋内プール	広島県	2026/7/31	RC	内
25m	再 2324	神戸ポートアイランドスポーツセンター	兵庫県	2026/9/30	AL	内
25m	再 2775	長崎市民総合プール	長崎県	2026/10/31	FRP	内
25m	再 2847	洛星ミレニアムプール	京都府	2026/10/31	SS	内
25m	再 2516	京都西洋高等学校屋内温水プール	京都府	2026/4/30	RC	内
25m	再 2669	野々市市スポーツランド室内プール	石川県	2026/9/30	FRP	内
25m	再 2913	岐阜県福祉友愛プール	岐阜県	2026/10/31	FRP	内
25m	再 2532	櫻泳スイミングスクール白河	福島県	2026/10/31	AL	内
25m	再 2674	山形市総合スポーツセンター屋内プール	山形県	2026/12/31	RC	内
25m	再 2912	スポーツ健康コモンズ	滋賀県	2026/9/30	FRP	内
25m	再 2774	大阪水泳学校長吉校プール	大阪府	2026/10/31	FRP	内
25m	再 2908	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ	東京都	2026/3/31	SS	内
25m	再 2348	東京成徳学園総合体育館屋内プール	東京都	2026/11/30	SS	内
25m	再 2672	東近江市能登川プール	滋賀県	2026/10/31	FRP	内
25m	再 2915	武蔵野の森総合スポーツプラザ 屋内 25m プール (A面)	東京都	2027/4/30	RC	内
25m	再 2916	武蔵野の森総合スポーツプラザ併用 25m プール (B面)	東京都	2027/4/30	RC	内
25m	再 2850	京都市西京極総合運動公園プール(京都アクアリーナ) 国際 25m 併用	京都府	2027/3/31	RC	内
25m	再 2851	京都市西京極総合運動場プール(京都アクアリーナ) 25m サブプール	京都府	2027/3/31	RC	内
25m	再 2533	沖縄県総合運動公園 25m プール	沖縄県	2026/10/31	RC	内
25m	再 2518	海南市民温水プール	和歌山県	2026/5/31	RC	内
25m	再 2878	天理大学総合体育館室内プール	奈良県	2026/11/30	FRP	内

25m	再 2345	倉敷市屋内水泳センター	岡山県	2026/11/30	S	内
25m	再 2676	早稲田大学所沢校地屋内プール(併用プール)	埼玉県	2027/1/31	RC	内
25m	再 2670	富士宮市民プール	静岡県	2026/9/30	FRP	内
25m	再 2914	六ヶ所村立屋内温水プール	青森県	2026/12/31	FRP	内
25m	再 2777	南長野運動公園体育館プール	長野県	2026/11/30	RC	内
25m	再 2780	藤枝市民大洲温水プール	静岡県	2027/1/31	SS	内
25m	再 2798	群馬県立敷島公園水泳場(併用プール)	群馬県	2027/1/31	RC	内
25m	再 2779	明治大学和泉体育館プール	東京都	2026/12/31	RC	内
25m	再 2678	養父市つるぎが丘公園コミュニティプール	兵庫県	2027/1/31	SS	内
25m	再 2778	福岡県総合福祉センター・女性総合センター・人権啓発情報センタープール	福岡県	2026/11/30	SS	内
25m	再 2102	CAC スイミングスクール	千葉県	2027/1/31	S	内
25m	再 2783	石川県立小松屋内水泳プール	石川県	2027/2/28	RC	内
25m	再 2679	高知市総合運動場総合体育館室内プール	高知県	2027/2/28	FRP	内
25m	再 2675	霧島市国分総合プール 25m	鹿児島県	2027/3/31	SS	内

飛込(新1・再13)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
飛込	飛 83	SAGA アクア飛込プール	佐賀県	2026/9/30	RC	外
飛込	再飛 67	秋田県総合プール	秋田県	2026/3/31	RC	内
飛込	再飛 59	大阪府立門真スポーツセンター	大阪府	2026/3/31	RC	内
飛込	再飛 60	大阪プール	大阪府	2026/5/31	RC	内
飛込	再飛 80	金沢プール	石川県	2026/7/31	RC	内
飛込	再飛 31	鳥取県菅東山水泳場飛込プール	鳥取県	2026/9/30	RC	外
飛込	再飛 49	広島市総合屋内プール	広島県	2026/7/31	RC	内
飛込	再飛 30	神戸ポートアイランドスポーツセンター	兵庫県	2026/9/30	RC	内
飛込	再飛 68	京都府立山城総合運動公園飛込プール	京都府	2026/6/30	RC	外
飛込	再飛 51	名古屋市総合体育館レインボープール飛込プール	愛知県	2027/3/31	RC	内
飛込	再飛 69	京都市西京極総合運動公園プール(京都アクアリーナ)	京都府	2027/3/31	RC	内
飛込	再飛 50	早稲田大学所沢校地飛込プール	埼玉県	2027/1/31	RC	外
飛込	再飛 40	北海道立野幌総合運動公園	北海道	2027/3/31	RC	内
飛込	再飛 72	青木町公園総合運動場市民プール	埼玉県	2027/4/30	RC	外

標準(新0・再2)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
標準 25m	再標 0180	福崎町立福崎西中学校プール	兵庫県	2026/10/31	FRP	外
標準 25m	再標 0211	堺市立健康福祉プラザプール	大阪府	2027/3/31	RC	内

《普及事業》

1. 指導者養成関係

①地域指導者研修会・講習会

地域指導者委員会

2021年度 地域指導者委員会に関する主な事業	
水泳コーチ養成に関する事業	
コーチ2 養成講習会 京都府：7名(9名申込) 福島県：12名	
基礎水泳指導員・公認水泳コーチ1 養成講習会47都道府県加盟団体で実施 マスター称号：203名 コーチ2：1,316名 コーチ1：8,413名 基礎水泳指導員 1,050名(単年度登録者数)	
免除適応校専門科目検定(合格者数) 北海道会場：9名 東京会場：1名 大阪会場：6名 大学：16名	
アスリート免除 2021年4月～2022年3月 17名	
研修に関する事業	
基礎水泳指導員・公認水泳コーチ1・2 更新研修会 47都道府県加盟団体で実施	
会議に関する事業	
第45回全国地域指導者(普及)委員長会議 2021年6月12日(土) オンラインにて開催	
地区別委員長会議派遣	
北海道・東北地区委員長会議	2021年10月17日 盛岡
関東地区委員長会議	2022年3月24日 臨時・オンライン
北信越地区委員長会議	-
東海地区委員長会議	-
近畿地区委員長会議	2021年10月31日 京都
中国地区委員長会議	-
四国地区委員長会議	-
九州地区委員長会議	2022年1月29日 オンライン

②コーチ研修会・講習会

競技力向上コーチ委員会

- (1)コーチ3 研修会 11月1日～12月31日(オンライン)
- (2)コーチ4 研修会 11月1日～12月31日(オンライン)
- (3)コーチ養成講習会

種別	日程・形態	競泳	飛込	水球	AS	OWS	合計
コーチ3	10月11日～31日 個人学習 11月3日～14日 オンライン講習	56名	9名	3名	17名	15名	100名

種別	日程・形態	競泳	飛込	水球	AS	OWS	合計
コーチ4	11月10日～30日 個人学習 12月4日～5日 オンライン講習	34名	4名	1名	0名	0名	39名

③水泳教師研修会

水泳教師委員会

(ア)水泳教師資格更新研修会 全国24会場 受講者数352人

SC協にて実施

管轄	場所	研修会名	開催日	教師更新者人数
全国	関東	ストレス予防改善水泳指導者研修会	5月9・10日	中止
全国	近畿	内科的疾患予防改善水泳指導者研修会	6月6・7日	中止
全国	近畿	全国水泳指導者特別研修会（ベビー）	7月11日	34名
全国	東海	アクア全国研修会	7月18日	6名
全国	関東	循環器系疾患予防改善水泳指導者研修会	9月4・5日	中止
全国	近畿	整形外科的疾患予防改善水泳指導者研修会	11月6・7日	17名
全国	関東	転倒・寝たきり予防改善研修会	2月5・6日	12名
全国	近畿	肥満予防改善研修会	3月19・20日	7名
北海道	北海道	水泳指導者研修会兼資格更新研修会	1月30日	17名
東北	東北	令和3年度第1回水泳指導者研修会（ベビー）	10月3日	19名
東北	東北	令和3年度第2回水泳指導者研修会（心理学）	2月20日	28名
関東	関東	指導力向上セミナー	12月5日	37名
関東	関東	ベビー水泳指導者研修会	1月30日	20名
関東	関東	障害児・障害者水泳指導者研修会	2月27日	16名
信越	信越	指導力向上セミナー	12月12日	20名
北陸	北陸	水泳指導者研修会	11月21日	16名
東海	東海	令和3年度妊婦水泳研修会	12月5日	4名
東海	東海	第31回競泳研究会	1月23日	28名
東海	東海	ベビースイミング研修会	2月13日	11名
近畿	近畿	水泳指導者研修会兼更新研修会	2月27日	31名
中国	中国	指導力向上セミナー	12月7日	10名
四国	四国	競泳水泳指導者研修会	10月29日	4名
九州	九州	第1回九州指導者研修会	9月19日	8名
九州	九州	第2回九州指導者研修会	2月27日	7名
合計				352名

(イ)水泳教師養成講習会(受講者)

【新規養成コース】

SC協担当 専門科目受講者 延べ322名

支 部	科 目	開催日	受講者数	合格者数	不合格数	(欠席)	(不合格)
北海道	基本	9月25日	中止				
	成人	9月26日	中止				
	幼児	12月4日	3	3	0	0	0
	学童	12月5日	中止				
	競技	1月22日	中止				
東北	幼児	5月23日	9	9	0	0	0
	学童	7月4日	8	8	0	0	0
	安全	8月1日	13	13	0	0	0
	妊婦	8月29日	8	8	0	0	0
	ベビー	10月3日	11	11	0	0	0
	成人	10月24日	12	12	0	0	0
	競技	11月14日	11	11	0	0	0
	高齢者	12月19日	10	10	0	0	0
	基本	1月16日	9	9	0	0	0
	施設	2月13日	5	5	0	0	0
関東	基本	8月13日	中止				
	幼児	8月14日	中止				
	学童	8月15日	中止				
	成人	8月16日	中止				
	競技	8月17日	中止				
	妊婦	8月17日	中止				
	安全	8月18日	中止				
信越	基本	5月5日	10	10	0	0	0
	成人	5月5日	3	3	0	0	0
	競技	5月5日	3	2	1	0	1
	幼児	6月13日	6	6	0	0	0
	学童	6月13日	6	6	0	0	0
	幼児	8月22日	3	3	0	0	0
	学童	8月22日	6	5	1	1	0
	基本	9月12日	4	4	0	0	0
	成人	9月12日	2	2	0	0	0
	競技	9月12日	1	1	0	0	0
北陸	幼児	5月23日	5	4	1	0	1
	学童	7月4日	中止				
	基本	9月12日	3	2	1	0	1
	成人	10月24日	中止				
	競技	3月6日	中止				
東海	基本	4月25日	14	11	3	0	3
	水泳施設	4月25日	中止				
	学童	5月23日	14	14	0	0	0
	幼児	6月27日	14	13	1	0	1
	高齢者	6月27日	中止				
	成人	7月25日	11	10	1	0	1
	競技	9月26日	3	3	0	0	0
	妊婦	12月5日	1	1	0	0	0
	ベビー	3月13日	11	10	1	0	1
近畿	基本	9月19日	中止				
	ベビー	9月19日	中止				
	幼児	10月17日	9	9	0	0	0
	高齢者	10月17日	2	2	0	0	0
	学童	11月28日	14	13	1	0	1
	妊婦	11月28日	中止				
	成人	12月12日	8	7	1	0	1
	施設	12月12日	2	2	0	0	0
	基本	1月30日	4	4	0	0	0
	競泳	1月30日	中止				
中国	基本	5月18日	5	5	0	0	0
	幼児	6月1日	3	3	0	0	0
	学童	9月7日	中止				
	成人	10月5日	4	4	0	0	0
	競技	11月2日	4	4	0	0	0
	安全	2月1日	中止				
四国	基本	9月30日	4	4	0	0	0
	競技	10月22日	7	7	0	0	0
九州	基本	6月29日	10	4	6	0	6
	成人	6月30日	10	8	2	0	2
	基本	10月29日	6	6	0	0	0
	幼児	10月30日	11	11	0	0	0
	学童	1月29日	中止				
	競技	1月30日	中止				
計			322	302	20	1	19

【適応認定コース】 (本連盟 担当)

適応コース	開催日	開催地	合格	不合格
東京 YMCA 社会体育専門学校	1月 17～19日	東京都	15	0
大阪社体スポーツ専門学校	1月 17～19日	//	4	0
計			19	0

(ウ) 水泳教師在籍施設証明事業 (JSPO 共同事業)

	新規	更新	総数
2021年 4月 1日 認定	6	13	19
2021年 10月 1日 認定	2	15	17
2021年度末 認定施設数	8	28	161

(エ) スキルアップセミナー

	開催日	開催地	参加者数
連合会館「201会議室」	3月 27日	東京都	中止
名古屋会場	2月	愛知県	中止
神奈川会場 (新設)	3月	神奈川県	中止

2. 各種指導員登録数

2022年3月31日現在

	有効期間内JSPO公認指導者総数 (有効期間: 2018～2021年度)						本連盟公認指導者数 (2021年度)
	コーチ1	コーチ2	コーチ3	コーチ4	教師	上級教師	基礎水泳指導員
北海道	775	74	117	12	114	14	6
青森	74	26	16	6	5	0	7
岩手	101	12	26	2	8	0	15
宮城	94	29	34	11	35	14	32
秋田	93	10	13	8	2	0	8
山形	96	16	24	11	15	6	18
福島	198	44	40	4	28	4	0
茨城	206	21	70	29	38	9	42
栃木	151	23	40	12	24	2	35
群馬	143	23	63	14	30	6	17
埼玉	561	47	211	56	135	17	110
千葉	180	11	147	31	75	11	55
東京	1,421	232	621	144	306	80	147
神奈川	394	61	250	79	170	31	69
山梨	33	8	14	8	6	1	9
長野	53	6	49	11	84	17	3
新潟	378	64	76	14	40	8	5
富山	116	40	50	18	25	7	23
石川	58	13	29	9	26	3	2
福井	32	4	20	6	44	2	6
静岡	326	20	82	30	62	8	47
愛知	398	73	160	46	122	44	15
三重	191	28	59	16	36	7	13
岐阜	191	13	26	7	28	6	0
滋賀	129	13	36	14	21	3	0
京都	113	21	44	20	33	7	45
大阪	132	42	166	51	121	18	6
兵庫	236	36	103	38	49	9	34
奈良	61	6	30	11	19	2	66
和歌山	22	9	24	9	19	5	12
鳥取	38	14	20	6	8	0	11
島根	67	8	23	9	18	7	8
岡山	109	9	33	17	33	5	22
広島	164	19	58	15	29	10	24
山口	97	12	26	8	13	5	8
香川	79	23	23	9	25	9	0
徳島	28	10	10	6	12	1	0
愛媛	92	40	14	8	17	4	0
高知	62	22	17	4	6	1	25
福岡	153	11	94	28	65	16	9
佐賀	31	2	20	0	4	2	0
長崎	69	16	11	5	11	4	12
熊本	139	57	23	4	17	0	42
大分	67	2	19	4	9	2	30
宮崎	32	9	14	3	12	1	7
鹿児島	107	25	29	5	21	3	0
沖縄	125	13	22	4	14	9	5
合計	8,415	1,317	3,096	862	2,034	420	1,050

3. 泳力検定実施状況

	2016年度 (2016/4/1～2017/3/31)		2017年度 (2017/4/1～2018/3/31)		2018年度 (2018/4/1～2019/3/31)		2019年度 (2019/4/1～2020/3/31)		2020年度 (2020/4/1～2021/3/31)		2021年度 (2021/4/1～2022/3/31)	
	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数
都道府県												
1 北海道	3,814	2,711	4,351	2,928	3,357	2,272	3,344	2,282	1,198	890	1,582	1,105
2 青森	637	491	945	767	927	645	512	362	457	303	540	399
3 岩手	638	490	700	530	708	583	1,288	1,184	182	160	380	339
4 宮城	738	582	788	668	1,234	945	596	455	258	220	532	457
5 秋田	51	40	0	0	6	6	1	1	3	3	0	0
6 山形	55	43	65	49	110	96	74	74	61	61	83	83
7 福島	910	698	943	746	949	706	775	555	1,161	885	1,154	765
8 茨城	4,346	2,870	4,988	3,319	4,502	3,360	4,168	3,219	2,688	2,077	3,457	2,493
9 栃木	1,104	848	865	706	916	685	506	367	266	208	480	395
10 群馬	3,403	2,635	3,788	2,996	4,131	3,308	1,855	1,510	2,003	1,603	2,461	1,930
11 埼玉	14,590	9,425	15,536	9,613	14,957	9,542	11,482	7,335	7,169	4,547	10,120	6,567
12 千葉	3,194	1,769	4,417	2,290	4,921	2,554	3,810	1,988	2,593	1,287	2,948	1,262
13 東京	10,889	9,661	12,127	9,338	4,932	3,656	3,745	2,932	8,298	7,806	4,352	3,856
14 神奈川	5,612	3,719	5,882	4,594	5,431	4,207	4,512	3,323	2,029	1,269	2,890	1,860
15 山梨	231	224	189	187	242	232	8	8	219	210	7	7
16 長野	191	126	253	229	253	205	314	264	110	89	140	120
17 新潟	365	260	324	262	330	299	154	144	104	103	27	27
18 富山	73	72	100	97	125	121	191	185	77	77	75	72
19 石川	0	0	108	66	0	0	141	130	17	12	110	91
20 福井	70	67	12	10	250	207	282	213	58	26	90	33
21 静岡	1,260	1,105	1,514	1,336	1,346	1,226	1,639	1,415	993	899	1,311	1,142
22 愛知	3,225	1,650	2,723	1,933	3,649	2,163	2,601	2,036	2,045	1,505	2,142	1,375
23 三重	369	334	237	221	231	205	178	156	177	168	223	198
24 岐阜	252	197	247	198	407	350	215	169	340	287	232	217
25 滋賀	271	208	360	347	240	231	189	181	89	89	153	116
26 京都	765	429	990	443	887	509	698	373	265	271	268	241
27 大阪	1,201	939	1,297	1,101	1,369	1,104	1,304	1,065	467	369	1,105	895
28 兵庫	2,640	2,073	2,212	1,708	2,406	1,953	1,590	1,250	778	630	1,642	1,184
29 奈良	873	604	1,050	709	966	652	798	545	257	183	511	371
30 和歌山	192	153	335	308	433	387	353	306	291	259	284	257
31 鳥取	63	57	183	169	20	15	0	0	0	0	0	0
32 徳島	57	55	95	92	0	0	134	132	0	0	0	0
33 岡山	412	234	32	27	509	333	582	549	18	18	35	35
34 広島	786	592	1,096	885	1,269	1,028	438	370	106	99	120	108
35 山口	158	127	197	162	228	200	256	227	139	115	257	225
36 香川	139	125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 徳島	12	11	3	1	7	7	13	10	0	0	0	0
38 愛媛	0	0	0	0	372	355	114	111	27	27	0	0
39 高知	0	0	0	0	221	207	0	0	0	0	75	60
40 福岡	368	261	180	131	220	212	134	130	55	55	218	217
41 佐賀	140	104	108	78	105	78	224	224	373	265	0	0
42 長崎	73	64	116	83	389	302	214	151	16	14	1	0
43 熊本	244	156	261	225	266	243	382	311	0	0	0	0
44 大分	259	210	354	293	169	146	250	218	166	160	211	204
45 宮崎	113	88	81	63	84	56	84	52	0	0	46	39
46 鹿児島	0	0	206	188	0	0	0	0	0	0	8	8
47 沖縄	85	59	96	66	728	267	66	45	29	23	38	28
48 ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	35	29	67	63
OWS検定	337	319	580	503	324	292	577	483	111	104	98	81
合計	65,205	46,885	70,934	50,565	65,156	46,150	50,791	37,040	35,758	27,405	40,473	28,925

※2022年8月31日までにいただいた実施報告分の集計となります。

4. 地域会議報告

地域	担当県	日程	出席者		
北海道	札幌	10月30日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
九州	佐賀	11月6日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
北信越	石川	11月13日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
東海	愛知	11月20日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
中国	鳥取	11月21日(日)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
近畿	和歌山	11月22日(月)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
東北	岩手	11月27日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
関東	茨城	11月28日(日)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事
四国	徳島	12月4日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事

議題

- 歓迎の挨拶 開催地 加盟団体長
- 挨拶および現況報告 会長 鈴木 大地
- 第32回オリンピック競技大会(東京) 競泳、飛込、水球、AS、OWS
- 事業報告
 - 競技力向上関係
 - 競泳 2021年度インターナショナル・ナショナル選手標準記録突破者
 - 2022年度インターナショナル・ナショナル選手標準記録
 - 競技会関係
 - 2021年度下期開催予定
 - 2022年度主要競技会開催予定
 - 2022年度主要競技会標準記録(案)
 - 指導者養成事業関係
 - 生涯スポーツ関係
 - 泳力検定制度 推進状況
 - 「水泳の日」 報告
 - 総務関係
 - 水泳ニッポン・中期計画 2017-2024 (進捗報告)
 - 加盟団体の法人化状況報告
 - 競技者登録状況
 - 2022年度会議日程
 - スポーツ団体ガバナンスコード(中央競技団体向け) 適合性審査関連
 - 2024年日本水泳連盟創立100周年記念事業について
 - その他
 - 2021 アンチ・ドーピング最近の話題
 - スポーツ界における暴力行為根絶宣言
 - 倫理に関するガイドライン等
 - その他
 - 総合補償制度 推進状況
 - 2022年世界選手権福岡大会進捗状況
 - 日本水連人事について
 - コンプライアンスについて
 - 今年度の事例報告
 - 有功章推薦者および2021年度有功章表彰式について
- 各加盟団体の要望および意見、来年度地域会議開催日程案
- 質疑応答

2021年度地域会議における要望・意見および質疑応答事項

北海道ブロック会議(2021.10.30)札幌

1. メダリストのメディア露出について

近年の少子化に伴い、ジュニア・スイマーは減少傾向にあるが、オリンピック・パラリンピック選手の活躍により持ち直しの傾向がみられる。メダリストに多くのメディアに登場していただき、水泳の宣伝・広告活動の検討をお願いしたい。

(回答) 本連盟の方針として、水泳選手ならびに水泳の価値を毀損するような公序良俗に反するもの以外は、原則、メダリストたちのメディア出演について応諾している。オリンピック・パラリンピック大会の終了直後は、特にその重要性を認識している。

2. 地域大会(小規模大会)でも利用可能なWebエントリー、リザルトシステムについて

Webエントリー、リザルトシステム(公式・公認大会)により、参加団体事務処理の省力化が進んでいる。地域大会(小規模)でも利用可能な簡易版のエントリー・リザルトシステムの開発・提供の検討をお願いしたい。

(回答) Webエントリーシステム、リザルトシステムは、小規模大会(非公認大会)でも利用できる。不明点などは濱崎(本連盟・情報システム委員長)まで連絡願いたい。

3. 今後の競泳の選手選考基準について

東京オリンピックにおける競泳の選考基準について、特にリレーの選考などに関して、かつての厳格な取扱いとは異なる部分が一部あったように思われる。今後の選考基準について、どのような考えか。

(回答) これまで同様、派遣標準記録は高いレベルで維持し、一発選考による少数精鋭を旨とした選考を考えている。若手に経験を積ませる機会は、世界ジュニア選手権大会やユースオリンピックなどの年代別の国際大会を利活用し、オリンピックや世界選手権大会の選手選考は、若手に経験を積ませる機会として考えていない。

4. 地域の公営プール閉鎖に伴う影響について

北海道の選手数自体はさほど減っていない状況ではあるが、地域によっては、人口減少やコロナの影響で公営プールの閉鎖が発生している。公営プールしかない地域では、大会ができないだけでなく、水泳自体ができないことになる。地域の公営プールの閉鎖に伴う影響の大きさについて、より理解いただきたい。

(回答) 北海道に限らず、全国的な重大な懸念として理解している。本連盟だけで解決できる問題ではないため、各加盟団体と情報を共有して検討してまいりたい。

九州ブロック会議(2021.11.6)佐賀

1. 加盟団体HPについて

数年前、日本水泳連盟のHPとの機能連携を主目的に、加盟団体HPの改修を推奨された。これを受けHPの改修に踏み切ったが、今般、連携機能のサポート終了の通知を受け取った。本件の経緯および今後の方針等を教示願いたい。

(回答) 大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っている。本年6月、業者(富士通)より、突然、サポート終了の連絡および代替案の提示を受けたが、代替案については費用面で受け入れ難い内容であった。その後、関係者で鋭意対策を検討したが有効な解決策を見いだせず、やむなく、本連盟との機能連携サポートを終了する旨を通知させていただいた。本連盟から話を持ち掛け、本連盟から一方的に終了するという一連の経緯について、大変申し訳なく思っている。今後の対応策について具体的なことは未定である。まずは、本連盟情報システム委員

長(濱崎委員長)に現況を説明いただきたい。その上で、本連盟として対処し得る施策などがあれば検討させていただきたい。

2. 選手カードの活用について

毎年制作している選手カードであるが、その活用方法が不明瞭である。有効な活用方法を明示願いたい。

(回答) 毎年のようにご指摘をいただいている本件については、少数ではあるが活用している加盟団体もあることから現行方式を継続している。どのような活用をしているかを確認の上、回答させていただく。なお将来的にはデータ管理を充実させるとともに、水泳愛好者の維持・拡大の施策としても、当該カードの利活用を検討していきたい。

3. 「水泳の日」を活用した水泳普及施策について

県下における水泳の普及施策において、オリンピックが参加する「水泳の日」は非常に有効に感じる。開催を検討したいので、具体的な申請方法を教えていただきたい。

(回答) 「水泳の日」は、全国的な水泳の普及を目的とした事業である。そのため、「各県下での開催」と、「各ブロック持ち回りでの大規模開催」との2形態併用で今日に至っている。開催を「県下での開催」とするのであれば、本連盟生涯スポーツ委員長(丸笹委員長)を窓口にご相談いただきたい。「九州ブロックとしての大規模開催」とするのであれば、まずは九州ブロックでご協議願いたい。

4. 参加標準記録のHP公開のタイミングについて

現状は各種承認後の公開かと思うが、案の段階でもいいので早めに公開してもらえると、選手の励みにもなり、いち早く標準記録突破を目標に取り組みすることができる。可能であれば、検討願いたい。

(回答) 現状の公開タイミングを確認の上、検討させていただきたい。

北信越ブロック会議(2021.11.13)石川

1. ホームページの構築について

2016年に2020年オリパラにて水泳競技のブランディングを目指すために当時の情報システム委員長よりHPの改修を指示され、長野県では2017年10月より幹旋が行われた富士通のサービスを利用し運用を行ってきた。しかし2021年7月に富士通より2022年3月で現契約のサービスを終了し、以降は契約料を上乗せしての継続は、2024年3月で全て終了との案内を受けた。その通知では、日水連と相談の上、代替策の連絡をいただける内容であったが、結果的に日水連情報システム委員長のメールでは、各加盟団体において個別に対応するという指示であった。本県では2022年3月にHPを切り替えるように委員会担当でHPづくりを行っている。専門業者に新たにHP作成を依頼するとかなり高額な費用がかかるため、業者に委託することなく、委員会独自に対応することとした。このことについて、日水連として何か支援や補助的なものをお考えしているかお聞きしたい。例えば、本県ではWordpressを用いて構築を行っているが、テンプレートなどのデザインを示してもらうなどの技術支援が可能かどうかをご指導願いたい。導入の指示があった当時は、かなり強硬な内容で加盟団体にHP作成の方向が示されてきていたが、今回のような形で加盟団体に対応を戻されてくるのは如何なものかと考える。

(回答) 大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っている。当時、本連盟HPの情報更新に連動したシステムを導入いただくことが、結果として情報伝達の正確性・迅速性のみならず、HP管理者の省力性・利便性にも資すると判断し、当該方式の導入をお勧めした。本年6月、業者(富士通)より、突然、サポート終了の連絡および代替案の提示を受けたが、代替案については費用面で受け入れ難い内容であった。その後、関係者で鋭意対策を検討したが有効な解

決策を見いだせず、やむなく、本連盟との機能連携サポートを終了する旨を通知させていただいた。本連盟から話を持ち掛け、本連盟から一方的に終了するという一連の経緯を考慮し、当該加盟団体には初期費用として富士通に支払われた 48 万円を本連盟より返金させていただく。その他、技術的なことをご相談等があれば、本連盟・情報システム委員長（濱崎委員長）まで連絡願いたい。内容をお聞きして、技術的なご支援などできるかどうか判断させていただきたい。

2. 全国大会・県外大会等の選手の記録提供や、加盟団体ランキングデータについて

昨年度のオンラインによる全国情報システム委員長会議でも質問された内容であるが、全国大会・県外大会等の県内選手の記録提供や加盟団体ランキングデータについて、電子データ（カンマ形式）としての提供をお願いしたい。また、早急に県内記録整理の業務を行う必要があるため、対応や提供時期について、なるべく早く実施をして欲しい。

(回答) データ提供は行っている。大会名を本連盟・情報システム委員長（濱崎委員長）まで連絡願いたい。早急に提供させていただく。

3. 加盟団体 HP について

統一との目的で作成にあたったが業者からやめるとの連絡があり、今後の継続について問題となる。独自作成または廃止と考えている。日水連からの要望や対応についてお聞かせ願いたい。

(回答) 上記 1. と同じ。

4. 名誉競技役員について

以前は A 級審判員であったが、更新時に不合格となり、B 級審判員に降格となった者について、次期更新時において、名誉競技役員の資格取得要件に該当するか、しないか。該当しない場合は、A 級審判員経験者はすべて資格取得要件に該当することにしていただきたい。

(回答) A 級審判経験者として資格取得要件に該当させていただく。

5. ハイドビング競技について

ハイドビング競技において、富山県の選手が現在、国内競技人口 1 名のなか 2022 福岡世界水泳日本代表をめざして頑張っている。FINA の公式競技でもあるハイドビングの普及、強化に関して、日水連の今後の方向性などあれば聞かせていただきたい。

(回答) 新種目であり、現状強化の施策がないことは事実である。また、強化をする施設等も有していないことから、どのような強化ができるかも含め、飛込委員会を中心に調査、思案中である。

6. 学校体育における水泳授業について

学校プールの老朽化に伴い、SC への業務委託が加速している。「学校プールがなくなる→水泳授業がなくなる」の流れにならないよう、日水連としての各方面への働きかけを期待する。また、SC が水泳授業を受託した際に適用となる保障制度の整備をお願いしたい。

(回答) 東京オリンピックを機に、スケートボードやサーフィンなど、若者受けする競技への若年層スイマーの流出が懸念される。「水泳は命を守るスポーツ」であることを、改めて関係各署に発信・周知していきたい。また、SC が水泳授業を受託した際の保障制度の整備については、その旨を総合保障制度幹事会社である東京海上日動火災保険株式会社へ要望として申し伝える。

7. スポーツインテグリティ（高潔性）およびガバナンスコードについて

スポーツインテグリティおよびガバナンスコードに関する鈴木会長、日水連の見解を確認したい。

(回答) 2018 年、スポーツ競技団体（NF）における不祥事が多発した。これを受け、スポーツインテグリティが求められ、NF に透明性の高い淀みのない組織運営を根付かせるために、ガバナンスコードが制定されることとなった。ガバナンスコードにおいて、本連盟は、2023 年 6 月の役員改選にて女性理事割合 40% を達成しなければならない。そのため、理事数を削減することも視野に入れなければならない。その場合、現在「ブロックごとに理事 1 名」から「数ブロックで理事 1 名」へと変更せざる得ない可能性もある。「数ブロックで理事 1 名」への変更について、忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。

(加盟団体・意見 1) 女性理事の積極的な登用が理想だが、子育て・介護といった家庭の事情との両立は簡単ではないのが実情である。そのため、理事数自体の削減は妥当と考える。

(加盟団体・意見 2) 現在の「ブロックごとに理事 1 名」から「数ブロックで理事 1 名」への変更は寂しい限りだが、今回の地域会議のように加盟団体の声をじっくり聞く時間をしっかりとってもらえるのであれば、理事数削減も賛成できる。

(本連盟・返答) 貴重なご意見に感謝する。女性理事割合 40% 達成に向けた取り組みについては、引き続き、各加盟団体と合意形成を図りながら検討してまいりたい。

東海ブロック会議(2021.11.20)愛知

1. 2026 アジア大会の会場について

2026 アジア大会水泳および飛込の会場は、現時点では日本ガイシアリーナとなっている。東京オリパラが開催された東京アクアティクスセンターと比較すると、様々な面でかなり見劣りする。NF である日本水泳連盟としては、日本ガイシアリーナが国際大会を開催するのに適切な会場であると考えているか。もしも不適であれば、競技会場の新設要請、他都道府県での開催等を検討するか。また、2026 アジア競技大会（愛知・名古屋）へ向けて、どのような心構えや準備をしておいたよいか。

(回答) 日本ガイシアリーナは施設全体が長方形ではなく玉子型をしており、ダイビングプールのプールサイドが極めて狭く、選手の待機場所の確保ができない。現状のままでは国際大会を実施できる施設ではないため、新規施設での開催を要望したい。

2. 競技者登録の減少について

全国中学およびその予選会への出場に際して、現行は競技者登録料の支払いが免除されている。現在の財務状況などを勘案すると、支払い免除を廃止してもよいのではないと思うが、どのように考えているか。コロナ禍の中、小中学校では水泳授業が行われていない地域があるがどのように思うか。日水連が主導する普及事業を多くできないものか。浜松市の 30 分間泳（浜松モデル）はどのような評価か。

(回答) 全国中学およびその予選会出場に際しての支払い免除は中体連の方針によるもので、水泳だけでなく他競技もその対象となっている。そのため、本連盟だけで動ける事案ではないため、免除の廃止はハードルが高いのが実状である。小中学校で水泳授業が行われていない地域があることは由々しき問題と認識している。一部の地域では SC への業務委託も行われているが、学校体育における水泳授業のてこ入れは、水泳の普及に必須である。浜松モデルなどの好例を参考に、検討を進めて参りたい。習い事の No.1 は水泳である。競技者と愛好者をつなぐ仕組み、例えば SC に支払う費用に月 100 円でも上乗せしていただいて、その代わりに池江選手のサイン入り下敷きをプレゼントするなどして、愛好者を取り込むことで「水泳ファミリー」を増やし、そのスケールメリットを協賛獲得につなげる仕組みを検討したい。

3. 日本水泳連盟のガバナンスコード対応について

日本水泳連盟におけるガバナンスコードへの対応の実態について伺いたい。特に、次期役員改選へ向けての取り組みについて伺いたい。

(回答) ガバナンスコードにおいて、本連盟は、2023 年 6 月の役員改選にて女性理事割合 40%

を達成しなければならない。そのためには、理事数を削減するか、ブロック選出理事においても40%の割合で女性を選出していただくなど、抜本的な改革が必要となってくる。忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。

(加盟団体・意見1) 女性理事割合40%の件ではないが、2023年6月の改選で、大多数の現役員が一斉に退任することを不安視している。人と人とのつながりがあってこそ、無理な頼まれごとでも引き受けることが可能になる。そのつながりが希薄になることに不安を感じる。

(本連盟・返答) 貴重なご意見に感謝する。人と人とのつながりは極めて重要である。無給のボランティアに依存した組織運営が本当に将来も持続可能なのかも疑問である。淀みのない組織運営を目的とした若手登用による新陳代謝と「これまでの人と人とのつながり」の兼ね合いを、引き続き、検討してまいりたい。

4. 新型コロナウイルス見舞金について

日本水泳連盟が加盟団体に新型コロナウイルス見舞金(仮称)を給付することは可能か。例えば、ブロック合宿に日水連から150万円の補助をいただいているが、コロナ対策下では、通常の4人部屋ではなくシングルルームでの対応となった。今年はナショナル合宿がなくなったための代用措置的な位置づけもあるので、何とか検討願いたい。

(回答) 新型コロナウイルス見舞金(仮称)の給付は考えていないが、具体的な事例を個々に確認して、追って回答させていただく。

5. 日本水泳連盟のHPについて

①日本水泳連盟HPに公開・更新された項目は、NEWS(お知らせ)欄にも載せてほしい。全国大会申込手続など、加盟団体や登録団体が知らないうちに公開されていることが多々見受けられ困っている。②日本水泳連盟HPの【お知らせ】に最新の情報が掲載されていない場合がある。今年度、日本選手権(25m)・社会人選手権大会などの情報が公開・変更されていたことが分からず、申し込み受付開始が遅くなってしまう場合もあったので、【お知らせ】の更新をお願いしたい。③競技に関して、HP内【標準記録】に、春季JOCの標準記録は掲載されていないが、【大会情報】内の大会要項内には標準記録が掲載されている。同じタイミングで公開していただけないか。可能であれば、各都道府県に対して公開・修正した旨の連絡もメールなどでもらえると幸いである。④日水連HP記載の地域指導者関連資料(コーチ1・2関連や基礎指導員・登録他)で、タイトル中には掲載年月日の記載はあるが、各資料ページにも掲載年月日の記載があると明確でわかりやすい。また、コーチ1・2関連項目と基礎指導員項目が分かれていると受講者がわかりやすい。

(回答) ①今回のHPリニューアルでは、水泳ファン向けの情報発信を含め構成させていただいた。その結果、従来よりも関係者向けの情報発信が分かりづらくなっているものと思われる。関係者向けのお知らせ方法について、課題とさせていただきます。②上記同様、課題とさせていただきます。③公開時期について、できるだけ同じタイミングで公開できるよう課題とさせていただきます。④先般実施したHPのリニューアルにあたっては、一般ユーザー目線、受講者目線を優先した構成で情報を発信しているが、指導者関係のページについては、いまだリニューアルが未完了の部分もある。そのため、各種様式のページが、加盟団体関係者や運営側向けの構成になっていることが原因かと思われる。一般ユーザー目線の検証、それに伴う構成変更、かつ「コーチ1・2」と「基礎水泳指導員」の項目を分けての掲載を検討したい。この度の受講者(ユーザー)が分かりにくいという部分については、具体的なご指摘を本連盟事務局までいただければ、ページ更新の際の参考にさせていただきます。

6. ブロック合宿のあり方の明確化について

現在行われているブロック合宿は各地域での取り組み方や選手選考も異なっている。何の目的なのか、ナショナル選手との整合性(シンガポール遠征の件)など、様々な問題を抱えていると思われるので、一度精査願いたい。

(回答) ブロック合宿および遠征は地域振興(強化の全国的な普及)を目的として始まったため、各地域の実情に合わせて実施している。ただし、ご指摘のとおり現状多くの問題を抱えていることから、位置付けも含め、現在、競泳委員会でも再考中である。

7. 飛込プール施設について

飛込プールに関して、全国競技会を開催するために必要な施設(ドライランド)、システム等を日水連から各県スポーツ協会宛に直接文書で依頼していただきたい。

(回答) 建設費用が高額となることから、近年、新設プールに「ダイビングプールを作らない」という事例が多々発生している。予算が取れる可能性があれば文書依頼を出すことができる。予算立てができない場合は、「施設そのものを廃止する」方向に向かってしまう可能性もあり、各県への依頼は難しい状況である。

8. 水球の組み合わせについて

全国大会の組み合わせ抽選が終わった後、組み合わせ結果の連絡が欲しい。申込責任者として、連絡先を申込時に渡しているため、そのメールアドレスなどに連絡があれば良いと思う。(チームの選手に、大会が行われる場所に知人がおり、選手間で連絡を取り、選手の方が先に組み合わせを知っていることが多々ある。)

(回答) 現在も抽選会後直ちに本連盟HPに掲載しているが、担当者の事務作業の関係上、掲載までタイムラグが生じていることはある。抽選会場にいる者が抽選時の用紙を写真に撮ってSNSやチャットで共有することは一瞬でできてしまうが、情報管理上、好ましいことではない。今後も可能な限り遅滞なくHPに掲載できるよう、再検討したい。

9. OWSについて

大会や研修会を行うと、こちらで判断できず回答に困るような幾つかの質問が出てくる。質問の内容についての問い合わせ先を明確に示していただければ助かる。また、OWSに関する質問についてのQ&Aのようなサイトがあればお願いしたい。

(回答) 問い合わせ先については、下記参照願いたい。Q&Aについては、HPに掲載するよう準備する。

【問い合わせ先】

競技会関連: information@jasfows.com

クリニック関連: clinic@jasfows.com

審判関連: referee@jasfows.com

認定大会関連: info-circuit@jasfows.com

強化関連: kyoka@jasfows.com

10. 医学について

日本代表、コーチ、トレーナーおよびスタッフの選出が不明である。

(回答) コーチはコーチ資格を有している者の中からチーム編成を考慮して構成し、トレーナーは「日本水泳トレーナー会議」と協議の上、決定している。

11. 日本水泳連盟の上層部との意見交換について

選手や現場の指導者と日本水泳連盟の上層部との意見交換の場を作っていただきたい。

(回答) 本年度より、競泳インターナショナル選手の義務研修会やAS日本代表選手対象オンライン研修会などを活用して、選手や現場の指導者が執行部と直接意見交換をする場を設けている(本年度は驚見常務が「競泳インターナショナル選手(AS日本代表選手)の権利と義務」について講話し、その後、質疑応答)。また、委員長は合宿の視察なども適宜行っている。ぜひ、そのような機会を活用いただきたい。

12. 普及について

基礎水泳指導員養成講習会申込時、実技免除申請の有効期間をお知らせいただきたい。

(回答) 基礎水泳指導員の養成講習会では、競技実績に応じての「実技免除」を行っている。ここで免除するのは『実技講習：基礎技術』であり、検定試験は免除しないことになっている(検定試験で「基礎技術」課程の確認をお願いしている)。よって「実技免除申請」の記録には、有効期間は設けていない。なお、コーチ3の取得を目的とする『アスリート免除』についての記録の有効期間については継続審議中である。

13. 競技役員移動届について

競技役員移動届の用紙を新しい書式のものに変えてほしい。理由は、内容が変わってきている(登録番号など)こと、4枚複写は大変である、印はいらぬのではないかなどである。

14. Web-SWMSYS 団体登録情報について

Web-SWMSYS 団体登録情報にある代表者 Email の入力を必須にして欲しい。

(回答) Web-SWMSYS の団体登録情報の必須項目として検討させていただく。

15. 競技会の観客動員について

競技会の観客動員はいつからと考えているか。

(回答) 年明けから「クラブ関係者席」を設け、AD カード所持者の入場を認めていきたいと考えている。ただし、春季 JO 競泳については、全年齢区分のリレー種目および 13 歳以上の人数制限を実施せざるを得ない状況で、社会の情勢が良い方向に向かえば「選手の人数制限の解除」、さらに良い方向に向かえば「観客動員(クラブ関係者席)」の順で考えている。

16. ガバナンスコード導入後の組織運営について

ガバナンスコードを遵守するあまり、これからの組織運営が心配である。

(回答) 加盟団体におかれては、スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に準じた組織運営が求められるが、同コードでは、役員の就任時の年齢や再任回数に制約は課せられていない。組織運営に欠かせない人材の確保が厳しいとの実状に際しては、これから時間をかけて人材育成計画を立て、実行いただくのも 1 つの方法かと考える。一方で、同コード原則 6 に基づき、任意で「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」原則 2 を遵守することを自ら課すことも可能である。その場合は、役員の就任時の年齢や再任回数等に制約が課せられる。つまり、各加盟団体が原則 6 にどう取り組むか次第と考える。

17. 加盟団体への主管依頼について

日本水泳連盟主催大会を地方で開催する場合、加盟団体に主管依頼を必ずいただきたい。

(回答) 主管依頼を発信せずに開催に至った大会が一部あり、ご迷惑をおかけした。これまで、水球の日本選手権最終予選会については、本連盟主催の「主要競技会」に位置付けされておらず、本連盟からの依頼をしていなかったが、次年度より「水球委員会行事予定」に組み入れ、主管依頼を発信させていただく。

18. 日本水泳連盟のガバナンスコードの HP 掲載について

本県の県スポーツ協会から、各競技団体に一般スポーツ団体向けのスポーツ団体ガバナンスコードの作成を令和 4 年度末までにホームページに公開することを指導された。日本水泳連盟が作成した中央競技団体向けのガバナンスコードについては、加盟団体として作成し公開する必要があるか、またあるとすると期限はあるか、ご指導を願いたい。

(回答) 各加盟団体の HP 上に、本連盟のガバナンスコード関連資料を掲載していただく必要はない。

19. 鈴鹿での全国大会誘致について

国体が中止となり、全国大会の開催がなくなった。今後、鈴鹿で開催できる規模の全国大会の誘致を希望する場合、どのような準備が必要か。

(回答) 「日本社会人選手権大会」であれば、2023 年度以降、随時お引き受けいただくことが可能である。

20. 2022 世界選手権福岡大会について

東京オリンピックではコロナ対策もあり、加盟団体関係者向けの視察 ID が発給されなかった。国際大会の運営を視察することは重要なので、是非、2022 世界選手権福岡大会では、視察用 ID の発給をお願いしたい。ちなみに、2001 世界選手権福岡大会では、事前申請の上、各加盟団体 3 枚が発給された。

(回答) 2022 世界選手権福岡大会組織委員会にその旨の要望させていただく。

21. 次世代構想委員会について

全国に水泳を普及させるためにはブロックごとに強化拠点を整備するなど、これまでと異なる施策の検討も必要ではないか。このような新しい取り組みは次世代構想委員会が担うことになるかと思うが、どのようなことを検討しているかの発信をお願いしたい。

(回答) 必要に応じて、次世代構想委員会の取組みを発信させていただきたい。

中国ブロック会議(2021.11.21)鳥取

1. 日本水泳連盟から鞍座された、水泳連盟向け HP の保守サポート終了について

平成 28 (2016) 年に、東京 2020 を見据えて、各都道府県連盟に対して、水泳連盟向けの HP への変更を検討するように、全国情報システム委員長会議の場などで、日水連からのアナウンスがあった。山口県水泳連盟では、勧誘を受け HP の切り替えを行った。平成 28 年 3 月に HP 制作費用 432,000 円の支払いと年間サポート料金約 10 万円を支払って運営してきたが、2021/7/1 付で、富士通の FAP ユニットから、突然に保守サポートの終了連絡が届いた。日本水泳連盟からのお誘いで始めた事業であり、これまで相当額と投資してきたにも関わらず、日本水泳連盟からは 2021/9/28 付の濱崎情報システム委員長からのメールのみの連絡で、当県では大変困惑しているとともに、納得のいかない部分もある。聞くところによると、日水連の理事会でも特に説明は行われていないという。今後は、従来の HP に戻すことを含めて検討中である。日水連から正式に、①HP 運用の CMS 基盤導入に至る経緯、②保守サポート終了に至った経緯、③日水連としての今後の加盟団体の HP 運用にかかる基本的な考えを説明していただきたい。

(回答) 大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っている。①当時、本連盟 HP の情報更新に連動したシステムを導入いただくことが、結果として情報伝達の正確性・迅速性のみならず、HP 管理者の省力性・利便性にも資すると判断し、当該方式の導入をお薦めした。②本年 6 月、業者(富士通)より、突然、サポート終了の連絡および代替案の提示を受けたが、代替案については費用面で受け入れ難い内容であった。その後、関係者で鋭意対策を検討したが有効な解決策を見いだせず、やむなく、本連盟との機能連携サポートを終了する旨を通知させていただいた。③本連盟から話を持ち掛け、本連盟から一方的に終了するという一連の経緯について、大変申し訳なく思っている。そのため、初期費用として導入加盟団体が富士通に支払われた 48 万円を本連盟より返金させていただく。その他、技術的なことでご相談などがあれば、本連盟・情報システム委員長(濱崎委員長)まで連絡願いたい。内容をお聞きして、技術的なご支援などできるかどうか判断させていただきたい。

近畿ブロック会議(2021.11.22)和歌山

1. 参与の選任基準について

日本水泳連盟の規程では、参与の選任基準について下記のとおりとなっているが、経験年数を15年とすると今後推薦が難しくなるのではないか。また定年制を設けることも15年以上の制約の要因となるのではないか。日水連に対し、上記のことを踏まえ、経験年数の軽減を検討願いたい。

(回答) 加盟団体が対象となる「スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>」では、役員の就任時の年齢や再任回数に制約は課せられていない。ただし、原則6に基づき、任意で「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」原則2を遵守することを自ら課すこともできる。その場合は、現状の15年の経験年数が制約となり得る。各加盟団体が原則6にどう取り組むかの全体像を把握したうえで、必要であれば、経験年数の軽減を検討させていただきたい。

【参考1】

「公益財団法人日本水泳連盟 名誉会長、名誉顧問、顧問、参与及び会賓に関する規程」(第6条)

参与は、下記の基準のいずれかを満たす者の中から理事会が選任し、代表理事が委嘱する。

- (1) 本連盟の常務理事、理事、委員長及び監事経験者
- (2) 本連盟の評議員及び加盟団体の会長、副会長、理事長を15年以上経験した満60歳以上の者
- (3) 代表理事が特別に永年の功績を認め推薦する者

【参考2】

「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」

【原則2】

適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。

- (3) 役員等の新陳代謝を図る仕組みを設けること
 - ①理事の就任時の年齢に制限を設けること
 - ②理事が原則として10年を超えて在任することがないよう再任回数の上限を設けること

【参考3】

「スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>」

【原則6】

高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<中央競技団体向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。

2. 全国中学の標準記録について

全国中学の標準記録において、女子の種目で下方修正が目立つ。女子の強化について、日水連として何か施策を講じているのか。

(回答) 標準記録の下方修正だけでなく、女子の出場者が減少している大会もある。これが人口減少によるものなのか、水泳における「女子離れ」によるものなのか。東京オリンピックで、スケートボードやサーフィンがメダルを獲得した。今後は、水泳や陸上のようなクラシカルな競技から、若者受けする競技に競技人口が流れていく可能性がある。女子選手の減少ならびにレベルの停滞について、まずは分析を急ぎ、その上で必要であれば、対策を講じてまいりたい。

3. 日本水泳連盟のガバナンスコード対応について

日本水泳連盟におけるガバナンスコードへの対応の実態について伺いたい。特に、次期役員改選へ向けての取り組みについて伺いたい。

(回答) ガバナンスコードにおいて、本連盟は、2023年6月の役員改選にて女性理事割合40%を達成しなければならない。そのためには、理事数を削減するか、ブロック選出理事においても40%の割合で女性を選出していただくなど、抜本的な改革が必要となってくる。忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。

(加盟団体・意見1) 段階を踏んでパーセンテージを上げていなら理解できるが、いきなり40%とは、いささか乱暴ではないか。2023年6月の改選で、どうしても40%を達成しなければならないのか。

(本連盟・返答) 本連盟は「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」の適合性審査において、「2023年6月の役員改選時に女性理事の割合を40%とすること」をコミットしている。ご理解をいただきたい。

東北ブロック会議(2021.11.27)岩手

1. 翌年度の地域会議開催日程の選定手順について

翌年の地域会議の開催日程が、当該年の開催地の順に決められていく。これでは「早い者勝ち」で、不公平である。2023年度からは、以前のように、事前に全ブロックに要望を聞いたうえで日程を調整していただきたい。東北ブロックの場合、後半になると雪の影響で行き来がしにくくなる。

(回答) 2023年度より、事前に全ブロックの要望を聞いたうえで調整させていただく。

2. ADカードの発給について

東京オリンピックではコロナ対策もあり、加盟団体関係者向けのADカードが発給されなかった。国際大会の運営を視察することは重要なので、是非、2022世界選手権福岡大会では、ADカードを発給願いたい。また、国内主要大会用に発給されているADカードについても、年度ごとに更新されるのか、翌年以降も継続使用するのか、その取扱いに関するルールを説明願いたい。

(回答) 2022世界選手権福岡大会用のADカードについては、大会組織委員会にその旨の要望させていただく。また、国内主要大会用のADカードの取扱いについては、後日、取扱いルールを回答させていただく。

3. 競泳日本選手権などにおける競技役員実技研修について

近年、コロナ禍の影響で、競泳日本選手権などにおける競技役員実技研修が行われていない。コロナ対応を施した大会運営なども、是非、実技研修を通じて習得したい。できるだけ早期に再開してもらいたい。

(回答) 競技役員の実技研修は、全国で統一した大会運営を目指して実施しているものである。状況が許せば、早期に再開する予定である。

4. JO春季大会の出場選手数の制限について

コロナ禍の影響で、JO春季大会において、出場選手数に制限(1種目20名)がかけられたことにショックを受けている。日本選手権のようなトップ層の大会で制限がかかることは理解できるが、次世代を担うジュニア選手向けの大会については、分散開催にするなどして、何とか「全国大会で泳ぐ機会」を減らさないでいただきたい。

(回答) JO標準記録を突破したにもかかわらず、大会に出場できないことは極めて残念なことである。ご意見を受け止め、何ができるか、改めて検討させていただきたい。現状、小学生にとってはJOが唯一の全国大会となることから、「10歳以下」・「11～12歳」の区分では、制限を行っていない。

5. 東京アクアティクスセンター（TAC）、東京辰巳国際水泳場（辰巳）について
TACはいつから使用可能となるのか。また、辰巳はいつまで使用できるのか。
(回答) 2023年3月31日が境となる。辰巳は2023年3月31日まで使用可で4月1日から使用不可。TACは2023年3月31日まで使用不可で4月1日から使用可となる。
6. 競技者登録の減少について
競技者登録が減少について、どのように考えているか。
(回答) 学校プールの現状について全加盟団体にアンケートして、その状況を踏まえてスポーツ庁、文科省に陳情に行きたい。また、泳げない教員が増えている実状や部活動（水泳部）のあり方についても、改善策を見いだしてまいりたい。水泳は子どもの習い事のナンバーワンとされているが、水泳が学校体育からなくなり月謝を払っての習い事だけになると、社会階層の低い家庭の子どもが泳ぐ機会を失ってしまう。その中に将来の金の卵がいるかも知れないのだから、何とか学校体育における水泳を維持・発展させていかなければならない。
7. 日本水泳連盟のガバナンスコード対応について
日本水泳連盟におけるガバナンスコードへの対応の実態について伺いたい。特に、次期役員改選へ向けての取り組みについて伺いたい。
(回答) ガバナンスコードにおいて、本連盟は、2023年6月の役員改選にて女性理事割合40%を達成しなければならない。そのためには、理事数を削減するか、ブロック選出理事においても40%の割合で女性を選出していただくなど、抜本的な改革が必要となってくる。忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。
(加盟団体・意見1) 日本相撲協会のように、理事数自体を減らすこともやむを得ないのではないかと。
(加盟団体・意見2) 日水連だけ女性理事を増やしても、全国の加盟団体で女性理事が増えないと意味がないのではないかと。
(加盟団体・意見3) これまで日水連は各県の意見を聞きながら、水泳界を統括してきた。現行のブロック制を維持して欲しい。ブロック選出理事を減らすことには反対である。
(加盟団体・意見4) 女性理事を増やす必要性は理解できる。形から入るか、育ててから入るか。2023年6月に実施となれば育てるには時間がないので、形から入るしかないのではないかと。
(加盟団体・意見5) 日本では、出産・育児・家事などが「女性の役割」とされている。先ずはこのような社会環境を変えない限り、単に女性を増やせと言っても厳しいのではないかと。ブロック同士をグループ化して、ブロック選出理事を減らすことには反対である。日水連も「委員会の名前」で理事を決めるのではなく、「個々人の力量」で理事を選出すべきではないかと。実際に、理事になっていない優秀な女性の委員長がいる。そのような人材こそ理事に抜擢し、結果として40%を目指すべきではないかと。
(本連盟・返答) 貴重なご意見に感謝する。頂戴したご意見を踏まえ、引き続き、検討してまいりたい。

関東ブロック会議(2021.11.28)茨城

1. 日水連 HP と連動したサービスの終了について
日水連 HP と連動したサービスの終了について、具体的な説明をお願いしたい。
(回答) 大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っている。2016年、本連盟 HP の情報更新に連動したシステムを導入いただくことが、結果として情報伝達の正確性・迅速性のみならず、HP 管理者の省力性・利便性にも資すると判断し、当該方式の導入をお勧めした。本年6月、業者（富士通）より、突然、サポート終了の連絡および代替案の提示を受けたが、代替案については費用面で受け入れ難い内容であった。その後、関係者で鋭意対策を検討したが有効な

解決策を見いだせず、やむなく、本連盟との機能連携サポートを終了する旨を通知させていただいた。本連盟から話を持ち掛け、本連盟から一方的に終了するという一連の経緯を考慮し、当該加盟団体に対して、初期費用として富士通に支払われた48万円を本連盟より返金させていただく。その他、技術的なことで相談があれば、本連盟・情報システム委員長（濱崎委員長）まで連絡願いたい。内容をお聞きして、技術的なご支援などできるかどうか判断させていただきたい。

2. 公共施設を利用した水泳指導者について
公共施設を利用して、コース借りで水泳指導を行っている者に対して、「公共施設を利用して金儲けしているのか」とのクレームが SC などから来ている。その対処方法について、妙案はないか。
(回答) 同様の事案が他県でも発生しているようだが、禁止にすることは難しいのが実状である。
3. 日本水泳連盟のガバナンスコード対応について
日本水泳連盟におけるガバナンスコードへの対応の実態について伺いたい。特に、次期役員改選へ向けての取り組みについて伺いたい。
(回答) ガバナンスコードにおいて、本連盟は、2023年6月の役員改選にて女性理事割合40%を達成しなければならない。そのためには、理事数を削減するか、ブロック選出理事においても40%の割合で女性を選出していただくなど、抜本的な改革が必要となってくる。忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。
(加盟団体・意見1) 法人化する際に、何名かの女性に「理事になってもらえないか」と声をかけたが苦戦をした。何とか30～40歳代の女性数名に理事になっていただいたが、しばらくは経験を積んでもらう期間と考えている。
(加盟団体・意見2) 然るべき役職を経て理事になってもらうやり方を長年踏襲してきたため、女性だからという理由でステップを経ないでいきなり理事というのはバランス的に難しい。
(本連盟・返答) 貴重なご意見に感謝する。頂戴したご意見を踏まえ、引き続き、検討してまいりたい。
4. 主要競技大会日程について
主要競技会日程について、プール側から使用許可が下りる前に日水連が HP で「決定」と掲載して問題になったことがある。このようなトラブルを回避するために、実際の使用許可が下りるまでは「決定」との掲載は控えていただきたい。
(回答) 年度末の評議員会までは「案」と付記して掲載し、年度末の評議員会以降は「案」を削除して掲載する方式に変更させていただく。

四国ブロック会議(2021.12.4)徳島

1. JO 春季大会の人数制限について
コーチたちから「上位20名もしくは20チーム」のエントリー制限がかかるという話が出ている。決まっている場合は早めに発表してほしい。
(回答) 本年10月5日付けで、本連盟 HP に要項を公開している。コロナ情勢を勘案し、10月23日付けで「※社会の情勢により、人数調整の方法を変更する場合がある。」と、目立つよう赤字にて要項修正を行った。ご確認願いたい。
2. 新型コロナウイルスの対応ガイドラインについて
新型コロナウイルスの対応ガイドラインについて、新しいものは出ないのか。本年3月に出したものが最新かと思われる。ワクチン接種率も上がり、収束の兆しも少し見える中、対応ガイドラインも新しくならないか。

(回答) 原則 72 時間前のウイルス検査を行っていたとしても、「完全にウイルスを持ち込んでいない」と言い切れるわけではない。ガイドラインは感染拡大を最小限にするためのものであるため、当面改定を行う予定はない。ただし、選手の参加条件や保護者の入場などについては、機を見て緩和を検討してまいりたい。

3. 競技者の二重登録解消策について

以前の地域会議において、水球選手と競泳選手の二重登録の解消を検討していただいたが、その後、進展はあるか。

(回答) 現状、登録を一本化する予定はない。各競技別に登録をしていただく。ただし、競技をまたいでの参加を妨げるものではない。ご理解とご協力をお願いしたい。

4. 競泳競技規則 10 条の 1 の見直しについて

以前の地域会議において、ローカル大会における男女同組での競技実施を検討していただいたが、その後、進展はあるか。

(回答) FINA ルールに基づく公式な競技規則を改定することはできない。理由は、男子がペースメーカーの役割を果たし、女子の記録に影響を及ぼすことがあり得るためである。混合リレーの第 1 泳者の記録が認められないのも、そのためである。

5. 日水連 HP と連動したサービスの終了について

日水連 HP と連動したサービスの終了について、具体的な説明をお願いしたい。

(回答) 大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っている。2016 年、本連盟 HP の情報更新に連動したシステム（業者・富士通）を導入いただくことが、結果として情報伝達の正確性・迅速性のみならず、HP 管理者の省力性・利便性にも資すると判断し、当該方式の導入をお薦めした。本年 6 月、富士通より、突然、サポート終了の連絡および代替案の提示を受けたが、代替案については費用面で受け入れ難い内容であった。その後、関係者で鋭意対策を検討したが有効な解決策を見いだせず、やむなく、本連盟との機能連携サポートを終了する旨を通知させていただいた。本連盟から話を持ち掛け、本連盟から一方的に終了するという一連の経緯を考慮し、当該加盟団体に対して、初期費用として富士通に支払われた 48 万円を本連盟より返金させていただく。その他、技術的なことで相談などがあれば、本連盟・情報システム委員長（濱崎委員長）まで連絡願いたい。内容をお聞きして、技術的なご支援などできるかどうか判断させていただきたい。

6. 学校体育における水泳について

学校プールでの水泳事故が発生するたびに、行政は「水泳授業の中止」「プールの閉鎖」といった消極的な方策を講じるが、本来は、事故が起きないように水泳を指導するのが本筋である。水泳授業に携わる小・中学校の教員に「基礎水泳指導員」の取得を義務付けるなど、日水連が文科省やスポーツ庁に申し入れをしてほしい。そのことが、当該資格取得者の減少抑止対策にもなる。

(回答) 費用対効果の観点から、昨今、老朽化した学校プールを改修せず、そのまま取り壊す事例が各地で散見される。また近年の教員採用試験では泳げなくても教職に就けるため、泳げない教員が増えていることも事実である。水泳授業の民間委託（SC への委託）や部活動の状況などを含め、学校体育における水泳の実態調査を全加盟団体へのアンケート方式で実施する予定である。全国各地の状況や問題点を把握した上で、文科省やスポーツ庁へ各種改善の陳情を行いたいと考えている。

7. 日本水泳連盟のガバナンスコード対応について

日本水泳連盟におけるガバナンスコードへの対応の実態について伺いたい。特に、次期役員改選へ向けての取り組みについて伺いたい。

(回答) ガバナンスコードにおいて、本連盟は、2023 年 6 月の役員改選にて女性理事割合 40% を達成しなければならない。そのためには、理事数を削減するか、ブロック選出理事においても 40% の割合で女性を選出していただくなど、抜本的な改革が必要となってくる。忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。

(加盟団体・意見 1) 無理をしても登用しないと、女性理事は増えない。ただし、女性を登用することで、女性ならではの意見が出てきて組織や考え方が変わることも事実である。

(加盟団体・意見 2) 2023 年 6 月にこだわらず適した女性に声をかけ、先ずは数多くの女性が組織に携わることが先決ではないか。その方々が将来の女性理事の「予備軍」となる。2023 年 6 月時点で仮に 40% に至らなくても、「予備軍として、これだけの女性が活躍している」旨の説明ができれば十分ではないか。

(本連盟・返答) 貴重なご意見に感謝する。「地球上の人類の約半数は女性であり、その観点からも数多くの女性を組織運営に登用する方が自然である」とのご意見もいただいた。本来は日本社会全体で考えなければならぬことではあるが、「スポーツ界から変えていく」という気概を持つことも重要と考えている。頂戴したご意見を踏まえ、引き続き、検討してまいりたい。

5. 表彰関係

(1) 2021年度有功章

NO	推薦団体	氏名
1	(一財)北海道水泳連盟	祖根 裕己
2	(一社)青森県水泳連盟	葛西 清仁
3	(一社)岩手県水泳連盟	横坂 一明
4	(一財)宮城県水泳連盟	伊勢 博
5	(一社)秋田県水泳連盟	渡辺 勇悦
6	(一社)山形県水泳連盟	渡邊 久
7	(一社)福島県水泳連盟	金澤 昭恵
8	(一社)茨城県水泳連盟	大枝 春男
9	栃木県水泳連盟	近藤 義昭
10	(一社)群馬県水泳連盟	青木 和子
11	(一社)埼玉県水泳連盟	白石 福松
12	(一社)千葉県水泳連盟	高橋 秀夫
13	(公財)東京都水泳協会	村田 裕
14	(公財)東京都水泳協会	田子 周一
15	(一社)神奈川県水泳連盟	草野 茂
16	(一社)神奈川県水泳連盟	渡辺 正
17	(一社)山梨県水泳連盟	岩澤 文男
18	(一社)長野県水泳連盟	齊藤 弘幸
19	(一財)新潟県水泳連盟	木村 伸明
20	(一社)富山県水泳連盟	関 清嗣
21	(一社)石川県水泳協会	鹿田 正昭
22	(一財)福井県水泳連盟	木下 喜美
23	(一社)静岡県水泳連盟	中村 信善
24	(一社)愛知県水泳連盟	服部 敬子
25	(一社)愛知県水泳連盟	高田 一臣
26	(一社)三重県水泳連盟	竹岡 眞博
27	(一社)岐阜県水泳連盟	中村 千代美
28	(一社)京都水泳協会	高山 康彦
29	(一財)大阪水泳協会	博多屋 信男
30	(一財)大阪水泳協会	水瀬 篤久

NO	推薦団体	氏名
31	(一社)兵庫県水泳連盟	起 和博
32	(一社)奈良県水泳連盟	辨野 功
33	(一社)和歌山県水泳連盟	中阪 雅則
34	(一財)鳥取県水泳連盟	本田 義志
35	NPO法人 岡山県水泳連盟	長谷川 博士
36	(一財)広島県水泳連盟	目見田 洋一
37	(一財)山口県水泳連盟	山崎 啓道
38	(一社)香川県水泳協会	光田 康志
39	(一社)徳島県水泳連盟	大西 道也
40	(一社)高知県水泳連盟	瓶子 勇治郎
41	(一社)福岡県水泳連盟	井上 昭伸
42	(一社)佐賀県水泳連盟	金持 カツコ
43	(一社)長崎県水泳連盟	今村 猛
44	(一社)熊本県水泳協会	山川 勝也
45	(一社)大分県水泳連盟	江嶋 公明
46	(一財)宮崎県水泳連盟	吉里 光弘
47	(一社)鹿児島県水泳連盟	福留 正人
48	(一社)日本スイミングクラブ協会	目黒 伸良
49	競泳委員会	畑井 宏道
50	飛込委員会	中島 直樹
51	水球委員会	田沼 高実
52	AS委員会	吉田 伸枝
53	OWS委員会	妹尾 信一
54	医事委員会	加藤 知生
55	競技委員会	須藤 聡
56	学生委員会	三友 礼人
57	地域指導者委員会	高橋 宗良
58	競技力向上コーチ委員会	高橋 恵子
59	施設用具委員会	雨谷 豊秋
60	日本泳法委員会	菊池 寿徳

(2) 選手およびコーチの表彰

①最優秀・優秀選手賞、優秀コーチ賞

(最優秀選手)

・競泳

大橋 悠依 (おおはし ゆい) 26 イトマン東進

(優秀選手)

・競泳

松元 克央 (まつもと かつひろ) 25 セントラルスポーツ
 黒川 紫唯 (くろかわ しゆい) 19 富田林イトマンスイミングスクール・近畿大学 (2年)
 入江 陵介 (いりえ りょうすけ) 32 イトマン東進
 佐藤 翔馬 (さとう しょうま) 21 東京スイミングセンター・慶応大学 (3年)
 武良 竜也 (むら りゅうや) 25 ミキハウス
 水沼 尚輝 (みずぬま なおき) 25 新潟医療福祉大学職員
 本多 灯 (ほんだ ともる) 20 ATSC.YW・日本大学 (2年)
 瀬戸 大也 (せと だいや) 27 TEAM DAIYA
 萩野 公介 (はぎの こうすけ) 27 ブリヂストン
 青木 玲緒樹 (あおき れおな) 27 ミズノ

(優秀コーチ)

平井 伯昌 (ひらい のりまさ) 東洋大学

②東京運動記者クラブ水泳分科会新人賞

本多 灯 ATSC.YW・日本大学 (2年)

③スポーツ関係団体表彰

(ア) JOC スポーツ賞 (日本オリンピック委員会)

特別栄誉賞 大橋 悠依 イトマン東進

(イ) 日本スポーツ賞 (読売新聞社)

オリンピック特別賞 大橋 悠依 イトマン東進

(ウ) 中日体育賞 (中日新聞社)

大橋 悠依 イトマン東進

④日本記録賞

長水路日本記録賞

(男子)

松元 克央 黒川 紫唯 佐藤 翔馬 川本 武史
 水沼 尚輝 塩浦 慎理 難波 暉 関 海哉
 中村 克 宇野 柊平 谷口 卓 阪本 祐也
 入江 陵介 武良 竜也

(女子)

青木 玲緒樹 五十嵐 千尋 池江 璃花子 酒井 夏海
 大本 里佳

短水路日本記録賞

(男子)

井狩 裕貴 竹田 涉湖 小関 也朱篤 日本 雄也
 瀬戸 大也

(3) 優秀団体および個人の表彰

①全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会 優秀クラブ・団体 (夏季大会)

(ア) 最優秀クラブ (夏季大会)

埼玉: おざわスイミングスクール 奈良: OEI. SWIMMING. SCHOOL
 埼玉: 春日部中央スイミングスクール 愛媛: 五目木スイミングクラブ
 大阪: スペックスイミングクラブ

(イ) 優秀クラブ (夏季大会)

茨城: 常磐大学高等学校 水泳部 東京: 東京ドーム 巢鴨
 茨城: タップスイミング筑波学園スクール 大阪: 枚方スイミングスクール NACL
 茨城: リリーススポーツクラブ 大阪: ジェルスイミングクラブ北野田
 栃木: スウィン大田原スイミングスクール 岡山: オーバルスポーツコム総社
 群馬: スウィン伊勢崎スイミングスクール 福岡: 福岡スイミングクラブ
 千葉: スポーツクラブ&スパ ルネサンス野田 福岡: プリヂェストンスイミングスクール志免
 東京: スポーツクラブ&スパ ルネサンス経堂 鹿児島: Kit
 東京: スポーツクラブ&スパ ルネサンス亀戸

②全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会 優秀クラブ・団体 (春季大会)

(ア) 最優秀クラブ (春季大会)

栃木: 西那須インターナショナルスイミングクラブ 大阪: ジェルスイミングクラブ北野田
 栃木: スウィン大田原スイミングスクール 愛媛: 五目木スイミングクラブ

(イ) 優秀クラブ (春季大会)

宮城: スポーツクラブ ルネサンス 仙台長町南2-4 静岡: 東部スイミングスクール
 千葉: ヴェルディ 愛知: 上社スイミングスクール
 千葉: メガロス柏 三重: 津田スイミングスクール四日市校
 東京: メガロス八王子 滋賀: コバンススポーツクラブ近江八幡
 東京: 大森双葉スイミングクラブ 大阪: 枚方スイミングスクール NACL
 長野: ISC 駒ヶ根スイミングクラブ 奈良: スポーツクラブ&スパ ルネサンス登美ヶ丘
 新潟: 上越正和スイミングスクール

③記念事業並びに栄章規程による優秀団体表彰 (第21条1項)

フィットネスクラブウイング十和田 Swim my Life (スイマイライフ)
 一般社団法人日本皆泳協会 ささはら水泳塾 アテナアクアメイツ
 金町スイミングクラブ カワサキスイミングクラブ
 ISC 飯田スイミングクラブ 新潟アーティスティックスイミングクラブ
 高岡スイミングクラブ 金沢ジュニア水球クラブ
 島田チャンピオンスイムスクール トヨタ自動車株式会社
 イトマンスイミングスクール名張校 JSS 多治見中央スイミングスクール
 ビートスイミングクラブまいづる JSS 宝塚スイミングスクール
 S.T.Y.スイミングクラブ 柳井市水泳連盟

④記念事業並びに栄章規程による優秀団体表彰 (第21条2項)

郡山スウィンスイミングスクール 古河あかやまスイミングスクール
 ナガイスイミングスクール玉村校 スウィン大教スイミングスクール・MAT 記念プール
 スウィン大教スイミングスクール大宮東 スウィン大宮スイミングスクール西校
 スウィン大宮スイミングスクール本校 スウィン深谷スイミングスクール
 埼玉スウィンスイミングスクール鷺宮 柏洋スイマーズ南スクール

柏洋スイマーズ江戸川台スクール
 公益財団法人東京都水泳協会
 豊川高等学校

千葉イトマンスイミングスクール
 磐田カルチャースイミングセンター
 武雄スイミングセンター

《印刷・出版物》

月刊水泳 537~548号
 加盟団体・役員名簿

各 7,000
 800

《諸会議・行事》

1. 専門委員会・特別委員会

評議員会(定時1回、臨時1回)	2回	競技力向上コーチ委員会	12回
理事会	3回	水泳教師委員会	11回
常務理事会(定時11回、臨時5回)	16回	広報委員会	12回
委員長会議	11回	施設用具委員会	11回
競泳委員会	12回	情報システム委員会	11回
飛込委員会	11回	総務委員会	3回
水球委員会	11回	アスリート委員会	5回
AS委員会	12回	日本泳法委員会	12回
OWS委員会	12回	生涯スポーツ委員会	10回
科学委員会	6回	スポーツ環境委員会	2回
医事委員会	7回	次世代構想委員会	1回
競技委員会	11回	指導者養成資格審査会	2回
地域指導者委員会	11回	特別強化委員会(定時10回、臨時1回)	11回

2. その他(会議)

日本選手権競泳実行委員会	1回	日本選手権 OWS 実行委員会	1回
競泳派遣選考会実行委員会	2回	JO 実行委員会	12回
日本選手権飛込実行委員会	1回	評議員選定委員会	1回
飛込ワールドカップ実行委員会	2回	役員候補者選考委員会	1回
日本選手権水球実行委員会	2回	Web-SWMSYS 刷新会議	11回
日本選手権 AS 実行委員会	6回	予算ヒアリング	19回
AS OQT 実行委員会	1回	オフィシャルサブライヤー会議	1回

3. コーチ会議

競泳 強化コーチ会議	3回	10/11、1/24、2/27 オンライン会議
飛込 強化コーチ会議	2回	9/20 日環アリーナ栃木、1/18 オンライン会議

4. 学生

全国代表者会議	8回
---------	----

5. その他

全国競技委員長会議	1回	4/4 オンライン会議
全国情報システム委員長会議	1回	1/15 オンライン会議

《慶弔関係》

(慶)

(敬称略)

かわむら かつひろ 川村 恒宏	(公財)日本水泳連盟・理事 (一財)北海道水泳連盟・副会長	旭日双光章 (地方自治体推薦)	2021年11月3日
しのはら くにひこ 篠原 邦彦	(公財)日本水泳連盟・評議員 (一社)長野県水泳連盟・理事長	旭日双光章 (地方自治体推薦)	2021年11月3日
ふじた ともひろ 藤田 陸博	(公財)日本水泳連盟・公認測量者 (一財)北海道水泳連盟・理事	瑞宝中綬章 (地方自治体推薦)	2021年11月3日
いとう きんご 伊東 三吾	(公財)日本水泳連盟・元医事委員	瑞宝小綬章 (業界団体推薦)	2021年4月29日
にしがわ かつ夫 西川 勝夫	(一社)岩手県水泳連盟 顧問	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	2021年10月11日
おおもも まさたか 大桃 正隆	(公財)日本水泳連盟・参与 (一財)新潟県水泳連盟・副会長	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	2021年10月11日
たちなみ かつ勝 立浪 勝	(一社)富山県水泳連盟 顧問	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	2021年10月11日
やくらい せいいち 櫻井 誠一	(公財)日本水泳連盟・評議員 (一社)日本パラ水泳連盟・常務理事・技術委員長	文部科学省 生涯スポーツ功労者表彰 (業界団体推薦)	2021年10月11日

(弔)

逝去月日(享年)

もりたに ひろ博 森谷 博	(一社)神奈川県水泳連盟	常任理事	2020年7月26日	(61)歳
いいで じゅんたろう 飯田 俊太郎	(公財)日本水泳連盟	参与	2021年3月6日	(90)歳
あつみ くにひこ 渥美 邦彦	(一社)静岡県水泳連盟	顧問	2021年3月20日	(83)歳
おかだ ていよし 岡田 照良	(公財)日本水泳連盟 (一社)兵庫県水泳連盟	参与 顧問	2021年4月20日	(77)歳
たかぎ かつりゅう 高瀬 一行	(一社)岩手県水泳連盟	顧問	2021年5月28日	(86)歳
こじま いさお 小島 勇夫	(一社)愛知水泳連盟	顧問	2021年6月8日	(82)歳
しばつじ かつひろ 芝辻 泰宏	(一社)岐阜県水泳連盟	元理事	2021年6月21日	(58)歳
たかはし こさう 高橋 伍郎	(一社)日本マスターズ水泳協会	顧問	2021年6月14日	(84)歳
きむら けんめい 木村 伸明	(一財)新潟県水泳連盟	常務理事・競技委員長	2021年7月27日	(59)歳
またよし きたる 又吉 定夫	(一社)沖縄県水泳連盟	顧問	2021年8月11日	(84)歳
わたなべ じゅんぱく 渡邊 治包	(一財)山口県水泳連盟	参与	2021年8月17日	(96)歳
ますおか 啓彰 増岡 啓彰	(公財)日本水泳連盟	評議員・飛込副委員長	2021年8月18日	(62)歳
みついし けんたろう 三石 忠雄	(一社)神奈川県水泳連盟	顧問	2021年10月8日	(83)歳
なかじま としひろ 中嶋 敏春	(一財)福井県水泳連盟	元副理事長	2021年11月13日	(76)歳
みつだ かつし 光田 康志	(一社)香川県水泳協会	理事・水球委員長	2021年11月14日	(58)歳
さわだ 浩 澤田 浩	(公財)日本水泳連盟	参与・財務委員	2021年11月21日	(90)歳
まふら じょう 馬淵 良	(公財)日本水泳連盟 (一財)大阪水泳協会	参与 顧問	2021年11月22日	(88)歳

こさかの けんけん 小坂 健介	(公財)日本水泳連盟 (一社)長野県水泳連盟	参与 名誉会長	2021年12月10日	(88)歳
よこた けんいち 横田 研一	(一社)神奈川県水泳連盟	顧問	2021年12月26日	(85)歳
きののうえ しょうじん 木之上 昭人	(一財)広島県水泳連盟	参与	2022年1月27日	(94)歳
うちの ぎよあき 内田 義昭	(公財)東京都水泳協会	評議員	2022年2月8日	(72)歳